



OnTime[®] GROUP CALENDAR

for Domino(Ver.7.8-)

Online Meetings 設定マニュアル
ステップバイステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

2021/07/12

目次

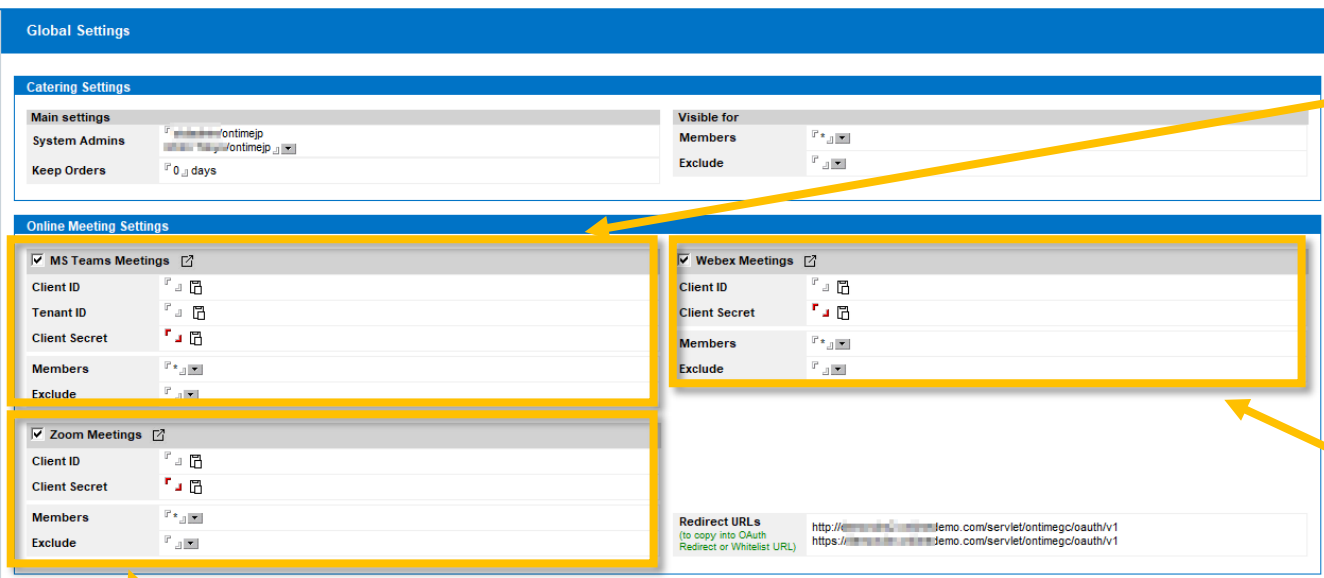


1. オンラインミーティングの設定(GlobalSettings文書)	p. 3	3. Zoom Meetingの設定	p. 2 9
2. Microsoft Teams Meetingの設定	p. 5	1. 管理者作業	p. 3 1
1. 管理者作業	p. 7	1. アプリの登録	p. 3 2
1. アプリの登録	p. 8	2. IDとシークレット取得	p. 3 7
2. 各IDの取得	p. 1 2	3. アプリの各種設定	p. 3 8
3. 認証の設定	p. 1 4	4. GlobalSettings文書の設定	p. 4 7
4. クライアントシークレットの設定	p. 1 5	2. ユーザー作業	p. 4 8
5. APIのアクセス許可	p. 1 8		
6. GlobalSettings文書の設定	p. 2 5	4. Webex Meetingの設定	p. 5 2
2. ユーザー作業	p. 2 6	1. 管理者作業	p. 5 4
		1. アプリの登録	p. 5 5
		2. IDとシークレット取得	p. 6 3
		3. GlobalSettings文書の設定	p. 6 4
		2. ユーザー作業	p. 6 5



1. オンラインミーティングの設定 (GlobalSettings文書)

1.オンラインミーティングの設定-GlobalSettings文書



Global Settings

Catering Settings

Main settings

System Admins

Keep Orders days

Visible for

Members

Exclude

Online Meeting Settings

☒ MS Teams Meetings

Client ID

Tenant ID

Client Secret

Members

Exclude

☒ Webex Meetings

Client ID

Client Secret

Members

Exclude

☒ Zoom Meetings

Client ID

Client Secret

Members

Exclude

Redirect URLs
(to copy into OAuth Redirect or Whitelist URL)

- オンラインミーティングはGlobalSettings文書で設定します。

Microsoft Teams

「Azure Portal」で登録した各値を設定します。
アプリ登録時にRedirectURLs欄の値を利用します。
P.5 「2.Microsoft Teams Meetingの設定」を参照。

Webex

「webex for Developers」で登録した各値を設定します。
アプリ登録時にRedirectURLs欄の値を利用します。
P.52 「4.Webex Meetingsの設定」を参照。

Zoom

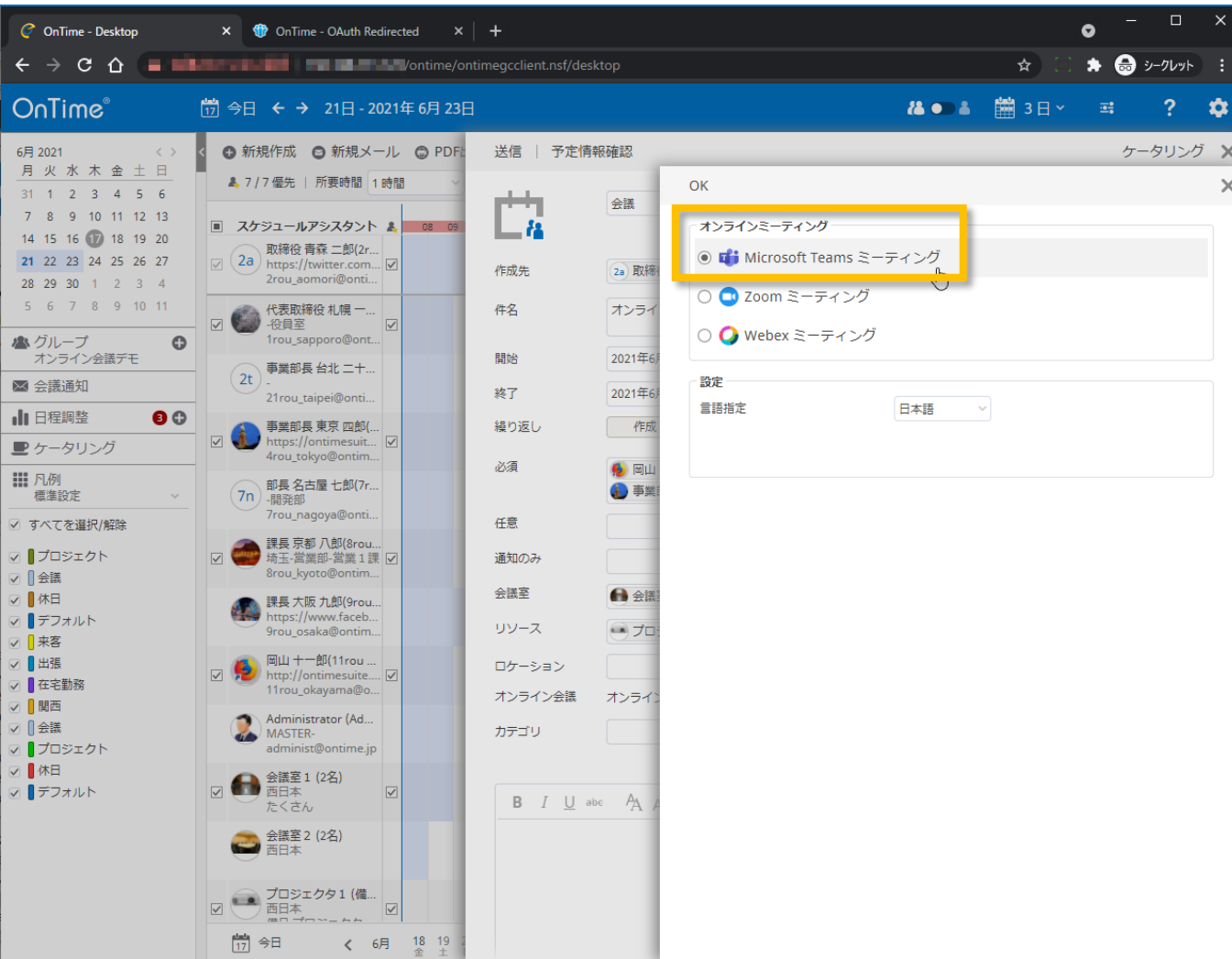
「Zoomマーケットプレイス」で登録した各値を設定します。
アプリ登録時にRedirectURLs欄の値を利用します。
P.29 「3.Zoom Meetingの設定」を参照。

- 設定完了後、ユーザーはブラウザのリロードだけで利用可能になります。
利用できるユーザーの制限を行った場合はOnTimeAdmin
コマンドと、HTTPタスクの再起動を行ってください。



2. Microsoft Teams Meetingの 設定

2.Microsoft Teams Meetingの設定



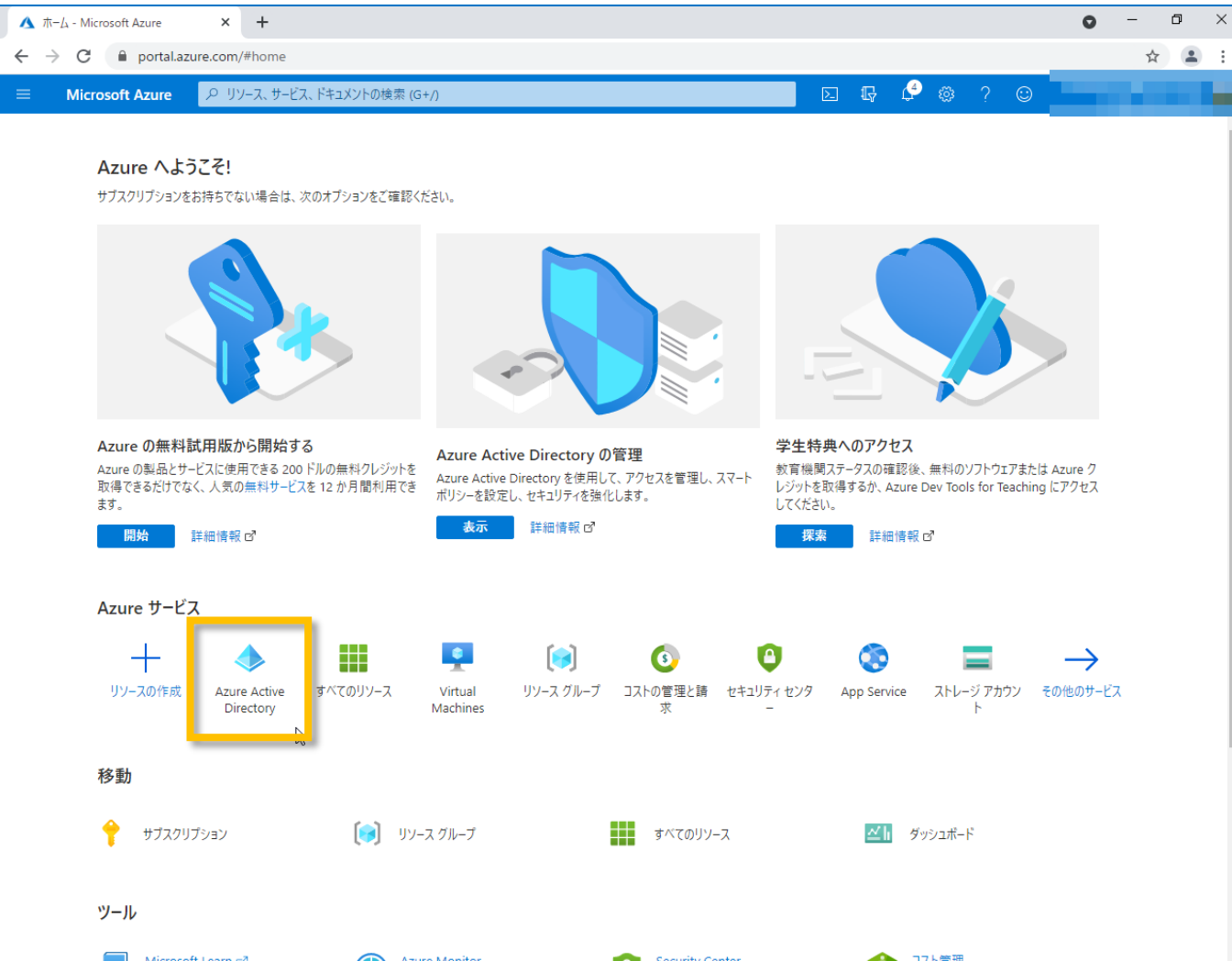
- OnTimeクライアントでMicrosoft Teams ミーティングを作成できます。
- Azure Portalでアプリの作成や権限設定を行い、その内容をGlobalSettings文書内「Online Meeting Settings」の「MS Teams Meetings」の項目に設定する必要があります。
- この作業にあたり、Dominoサーバーの設定でWebのSSLポートを有効化する必要があります。
AzurePortalでのアプリ登録時にリダイレクトURIとしてhttpsの指定が必要となります。

利用する証明書は自己署名証明書でも可能ですが、推奨いたしません。



2-1. 管理者作業

2-1-1.アプリの登録 1



- 利用するTeamsの所属するテナントの Azure Portal に管理者でログインします。
<https://portal.azure.com>
- Azure Portal から Azure Active Directory を開きます。

2-1-1.アプリの登録 2



The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface. The left-hand navigation pane contains several links, with 'アプリの登録' (App Registrations) highlighted by a yellow rectangular box. The main content area displays the '概要' (Overview) page for Azure Active Directory. It includes a search bar for tenants, a 'テナントの情報' (Tenant Information) section showing details like role, license (Azure AD Premium P1), and tenant ID, and an 'Azure AD Connect' section showing its status as '無効' (Disabled). At the bottom, there is a 'サインイン' (Sign-in) graph showing activity over time, with a current count of 64 sign-ins.

- Azure Active Directory の「アプリの登録」を開きます。

2-1-1.アプリの登録 3



Microsoft Azure | アプリの登録

新規登録

新しいアプリ登録の検索のプレビューをお試しください。クリックするとプレビューが有効になります。→

2020年6月30日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure AD Graph に新しい機能はもう追加されません。テクニカル サポートとセキュリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) および Microsoft Graph にアップグレードする必要があります。詳細情報

すべてのアプリケーション 所有しているアプリケーション 削除されたアプリケーション (プレビュー)

名前またはアプリケーション ID を入力し始めると結果がフィルター処理されます

表示名	アプリケーション (クライアント) ID	作成日	証明書とシークレット
GR	3b...	20...	現在
AK	2a...	20...	現在
GR	2c...	20...	現在

- 「アプリの登録」で「新規登録」をクリックします。
- 注意)
既に登録しているアプリケーションがある場合は一覧に表示されます。

2-1-1.アプリの登録 4



アプリケーションの登録 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_IAM/ActiveDirectoryMenuBlade/RegisteredApps

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > >

アプリケーションの登録

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

OnTime-OnlineMeeting

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションは使用されるアカウントにアクセスする必要がある。

☒ この組織ディレクトリにのみ含まれるアカウント (のみ - シングル テナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

☐ 個人用 Microsoft アカウントのみ

選択に関する詳細...

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web

作業に使用しているアプリをこちらで登録します。ギャラリー アプリと組織外の他のアプリを [エンタープライズ アプリケーション] から追加して統合します。

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります。

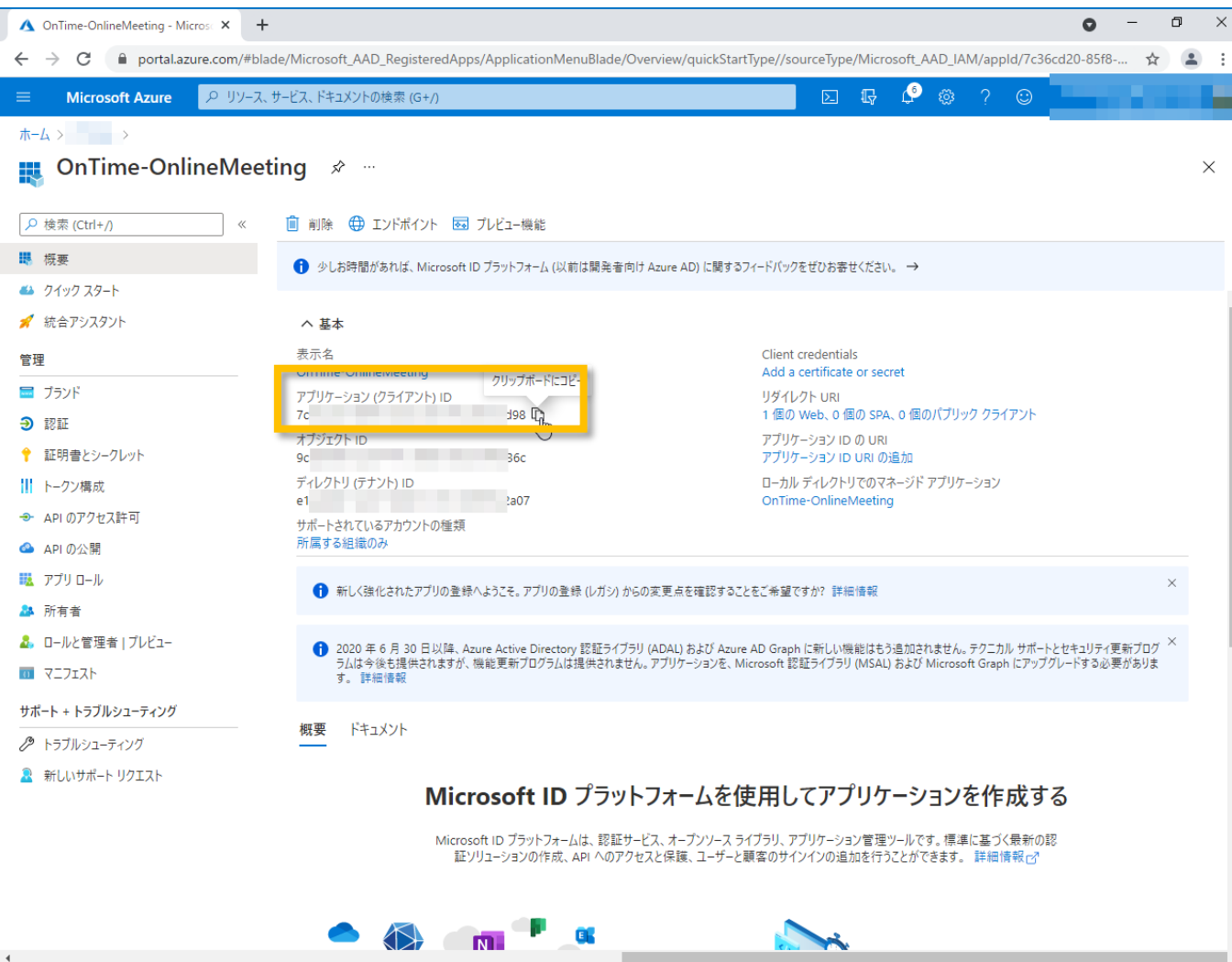
登録

- 「名前」はエンドユーザーには表示されない名前なので管理上識別しやすい名前を入力します。
- 「サポートされているアカウントの種類」は「この組織ディレクトリにのみ含まれるアカウント」を選択します。

「リダイレクトURI」の欄にコピーしておいたGlobalSettings文書のRedirect URLs欄の文字列を貼り付けます。
「https://<ホスト名>/servlet/ontimegc/oauth/v1」と入力してください。

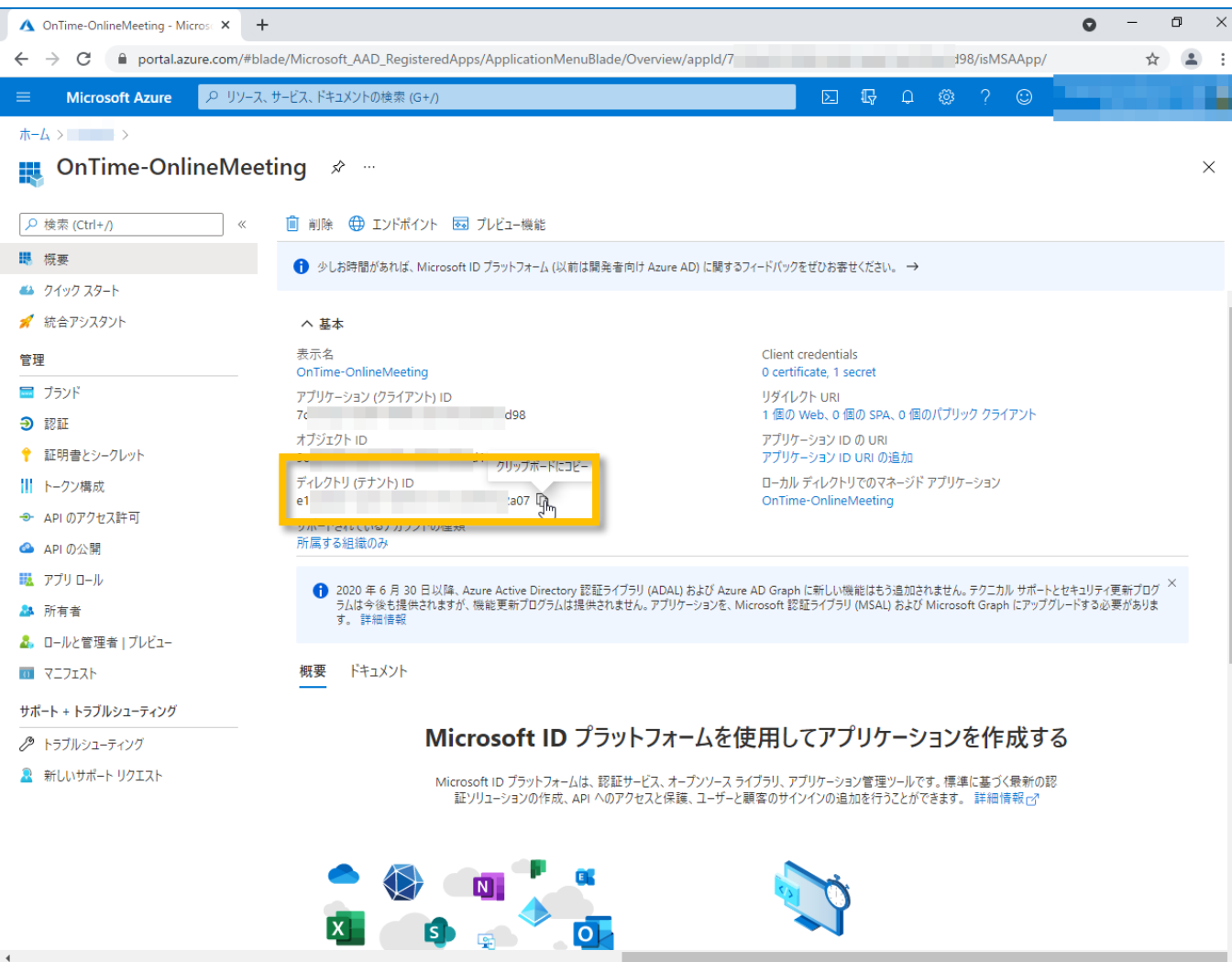
- 最後に「登録」をクリックします。

2-1-2.各IDの取得 1



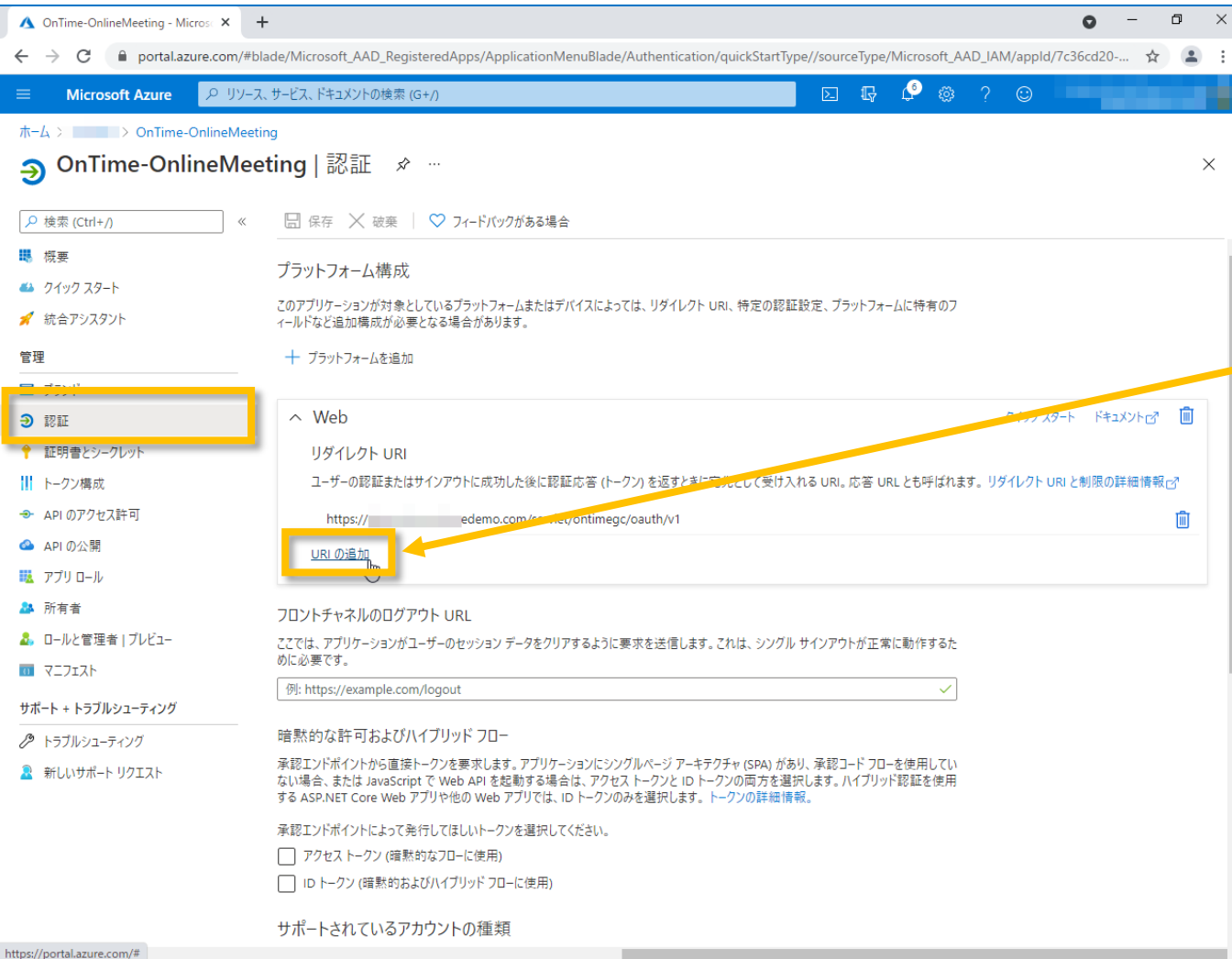
- 画面が切り替わったら「アプリケーション(クライアント)ID」をコピーし、後ほどOnTimeGCCConfigDBのGlobalSettings文書で利用するのでメモ帳などに保持します。

2-1-2.各IDの取得 2



- 同じく「ディレクトリ(テナント)ID」をコピーし、後ほど OnTimeGCCConfigDBのGlobalSettings文書で利用するのでメモ帳などに保持します。

2-1-3.認証の設定



- 作成したアプリの「認証」を開きます。
- 複数のOnTimeサーバーを利用している場合、各OnTimeサーバーのURIを追加して保存します。

アプリの登録時に指定したサーバー以外のOnTimeサーバーがある場合、「URIの追加」をクリックします。
各OnTimeサーバーのURIを追加して保存してください。

「https://<ホスト名>/servlet/ontimegc/oauth/v1」

2-1-4.クライアントシークレットの設定 1



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTime-OnlineMeeting

OnTime-OnlineMeeting | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+/) << フィードバックがある場合

概要
クイックスタート
統合アシスタント
管理
ブランド
初歩
証明書とシークレット
トークン構成
API のアクセス許可
API の公開
アプリ ロール
所有者
ロールと管理者 | プレビュー
マニフェスト
サポート + トラブルシューティング
トラブルシューティング
新しいサポート リクエスト

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所 (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

証明書
証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

拇印	開始日	有効期限	Certificate ID
このアプリケーションには証明書が追加されていません。			

クライアント シークレット
トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値	Secret ID
このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。			

- 「証明書とシークレット」に移動します。
- こちらではOnTimeサーバーがアクセスする際に自身のIDを証明する為の「クライアントシークレット」を作成します。
- 「クライアントシークレット」は「アプリケーションパスワード」と呼ばれることもあります。
- 「新しいクライアントシークレット」をクリックします。

2-1-4.クライアントシークレットの設定 2



- 「クライアントシークレットの追加」ダイアログが開きます。

「説明」には識別しやすい名前を入力します。
「有効期限」は最長24か月まで選択できます。

- 「追加」ボタンをクリックします。

2-1-4.クライアントシークレットの設定 3



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTime-OnlineMeeting

OnTime-OnlineMeeting | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+/) << フィードバックがある場合

概要

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

拇印	開始日	有効期限	Certificate ID
このアプリケーションには証明書が追加されていません。			

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値	クリップボードにコピー	et ID
OnTime - OnlineMeeting	20	W..._LQs...	クリップボードにコピー	66...

- 先ほどの画面上には作成した「クライアントシークレット」が表示されています。
- 「値」をコピーし、後ほどGlobalSettings文書で指定するのでメモ帳などに保持します。
- 注意)
「値」はこのタイミングでコピーしないと二度と取得できないのでご注意ください。

2-1-5.APIのアクセス許可 1



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTime-OnlineMeeting

OnTime-OnlineMeeting | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+F) | 最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

「管理者の同意が必要」列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加

に管理者の同意を与えます

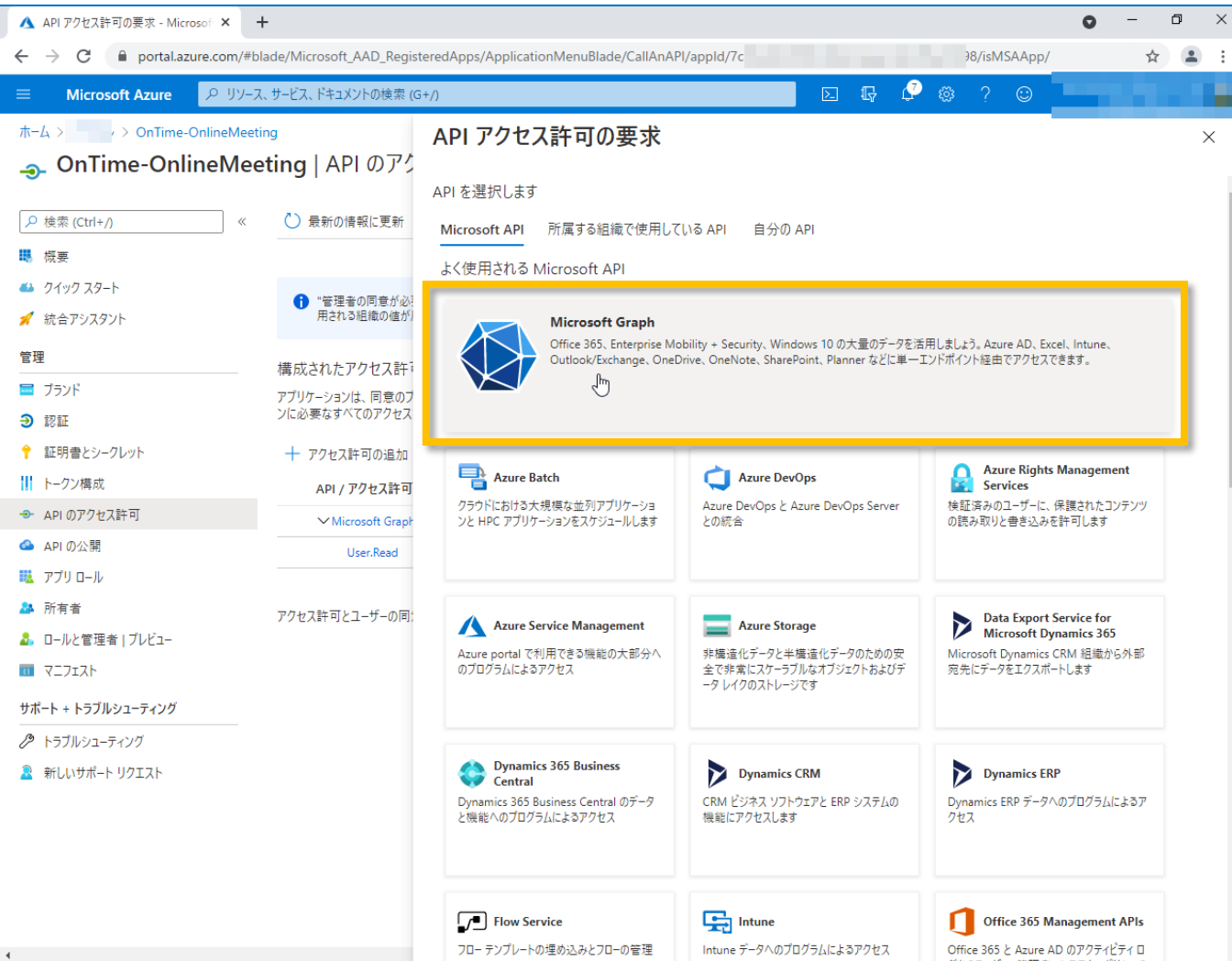
API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

<https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=2152292>

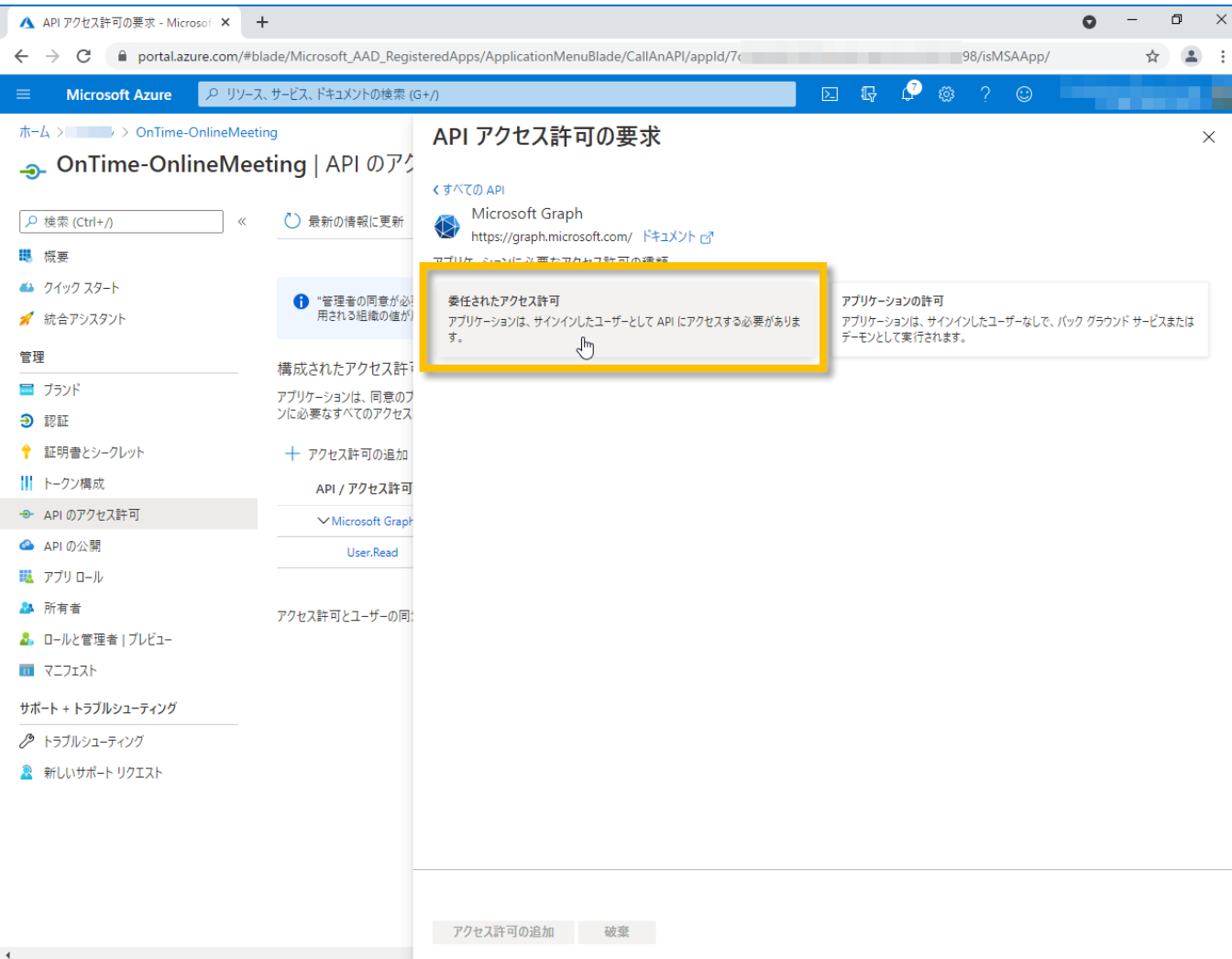
- 「APIのアクセス許可」に移動します。
- こちらではOnTimeサーバーが Graph API でアクセスする内容を定義します。
- 「アクセス許可の追加」ボタンをクリックします。

2-1-5.APIのアクセス許可 2



- 「APIアクセス許可の要求」ページが開きます。
- 「Microsoft Graph」を選択します。

2-1-5.APIのアクセス許可 3



- 「委任されたアクセス許可」をクリックします。

2-1-5.APIのアクセス許可 4



API アクセス許可の要求

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ ドキュメント

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する

online

“管理者の同意が必要”列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。詳細情報

アクセス許可	管理者の同意が必要
OnlineMeetings (1)	
☐ OnlineMeetings.Read Read user's online meetings	いいえ
☒ OnlineMeetings.ReadWrite Read and create user's online meetings	いいえ

アクセス許可の追加 破壊

- アクセス許可の選択肢が下に展開されるので下へスクロールまたは検索欄に「online」と入力して「OnlineMeetings」まで移動します。移動したら「OnlineMeetings」を更に展開します。
- 「OnlineMeetings.ReadWrite」をチェックします。
- 「アクセス許可の追加」をクリックします。

2-1-5.APIのアクセス許可 5



Microsoft Azure

OnTime-OnlineMeeting | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+F)

最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意が必要になります。

“管理者の同意が必要”列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、APIを呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (2)				
OnlineMeetings.ReadWrite	委任済み	Read and create user's online meetings	いいえ	...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズアプリケーションをお試しください](#)。

- アクセス許可の一覧に画面のように2つのAPIが並びます。
- 「“ドメイン名”に管理者の同意を与えます」ボタンをクリックします。

2-1-5.APIのアクセス許可 6



Microsoft Azure | リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > OnTime-OnlineMeeting

OnTime-OnlineMeeting | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+F) << 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

すべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか? この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが、以下の一覧の内容に一致するように更新されます。

用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一端としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 ✓ [ユーザー] に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (2)				
OnlineMeetings.ReadWrite	委任済み	Read and create user's online meetings	いいえ	...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

- 確認画面では「はい」をクリックします。

2-1-5.APIのアクセス許可 7



Microsoft Azure

OnTime-OnlineMeeting | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+F)

最新の情報に更新 | フィードバックがある場合

概要

クイックスタート

統合アシスタント

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

同意する
同意の付与に成功しました

要求されたアクセス許可の管理者の同意が正常に付与されました。

“管理者の同意が必要”列には、組織の既定値が表示されます。ただし、ユーザーの同意は、アクセス許可、ユーザー、アプリごとにカスタマイズできます。この列には、ご自分の組織や、このアプリが使用される組織の値が反映されていない場合があります。 [詳細情報](#)

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 ✓ に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (2)				
OnlineMeetings.ReadWrite	委任済み	Read and create user's online meetings	いいえ	✓ 付与されました
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	✓ 付与されました

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

- 無事に付与されているか確認します。
- もし付与されない場合はAzureグローバル管理者に連絡してご確認ください。
- 以上で Azure Portal での作業は完了です。

2-1-6.GlobalSettings文書の設定



- OnTimeGCConfigDBのGlobalSettings文書を開きます。

「Online Meeting Settings」の「MS Teams Meetings」にチェックマークを付け、それぞれコピーしておいた「Client ID」「Tenant ID」「Client Secret」の値を指定します。

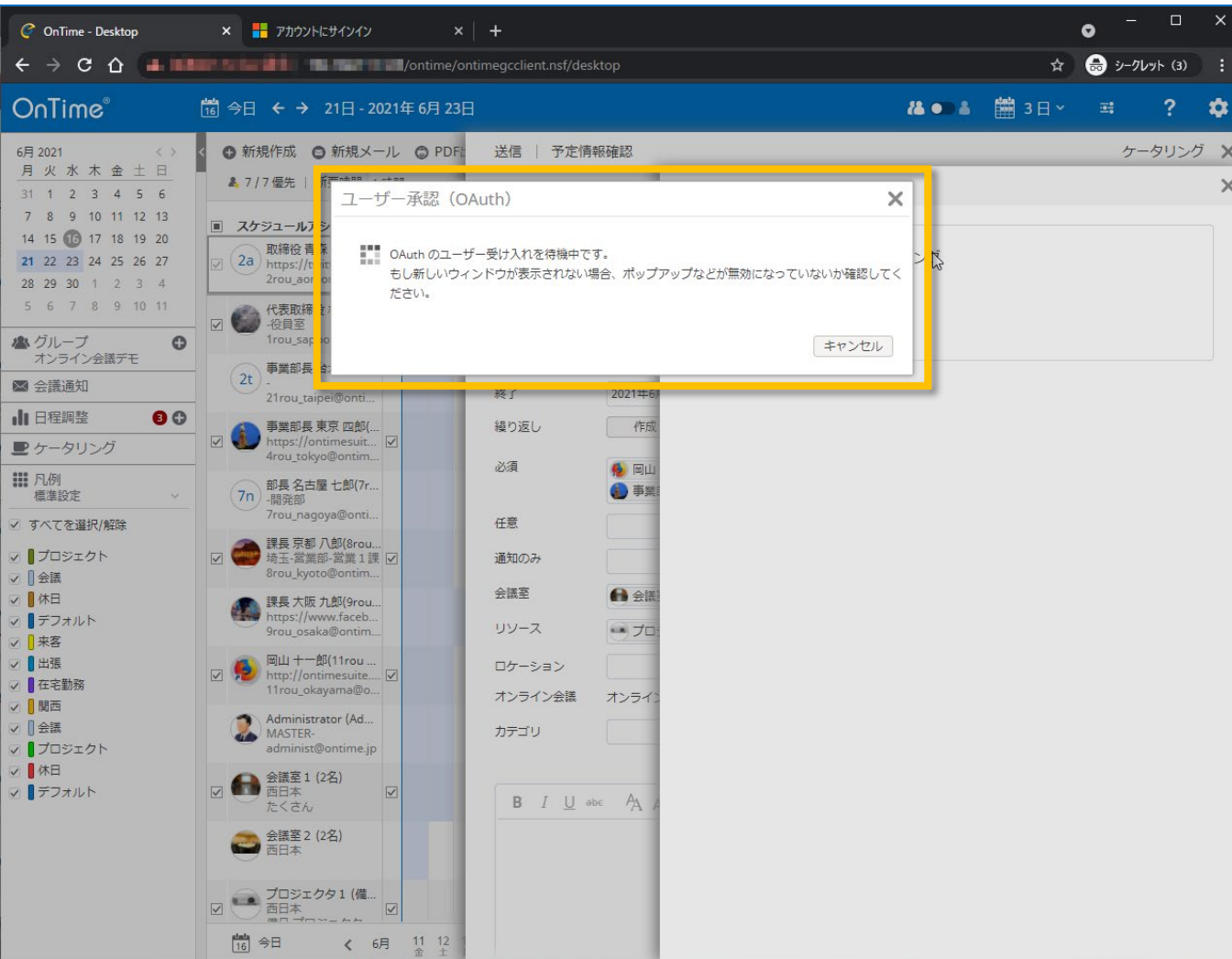
「Members」に利用可能ユーザーを指定、「Exclude」に利用不可のユーザーを指定し、GlobalSettings文書を保存します。

- 設定完了後はブラウザのリロードだけで利用可能になります。「Members」「Exclude」の値を変更した場合はOnTimeAdminコマンドと、HTTPタスクの再起動を行ってください。



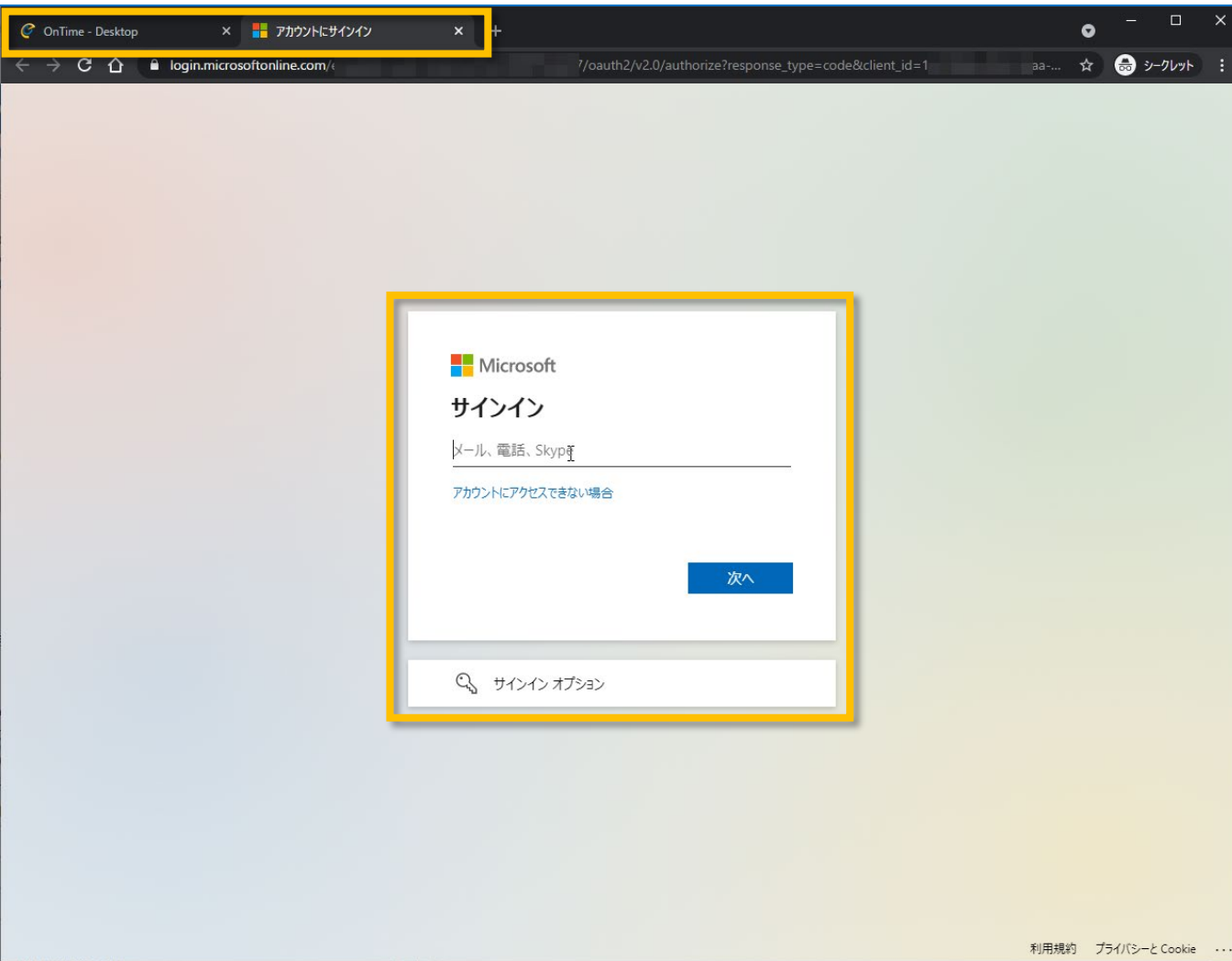
2-2. ユーザー作業

2-2. ユーザーの初回利用時 1



- 会議作成時、オンライン会議に「Microsoft Teams ミーティング」を指定すると初回のみ図の様なダイアログが表示されるとともに、新規ウィンドウが開きます。
新規ウィンドウでMicrosoft365へのサインインが必要です。

2-2. ユーザーの初回利用時 2

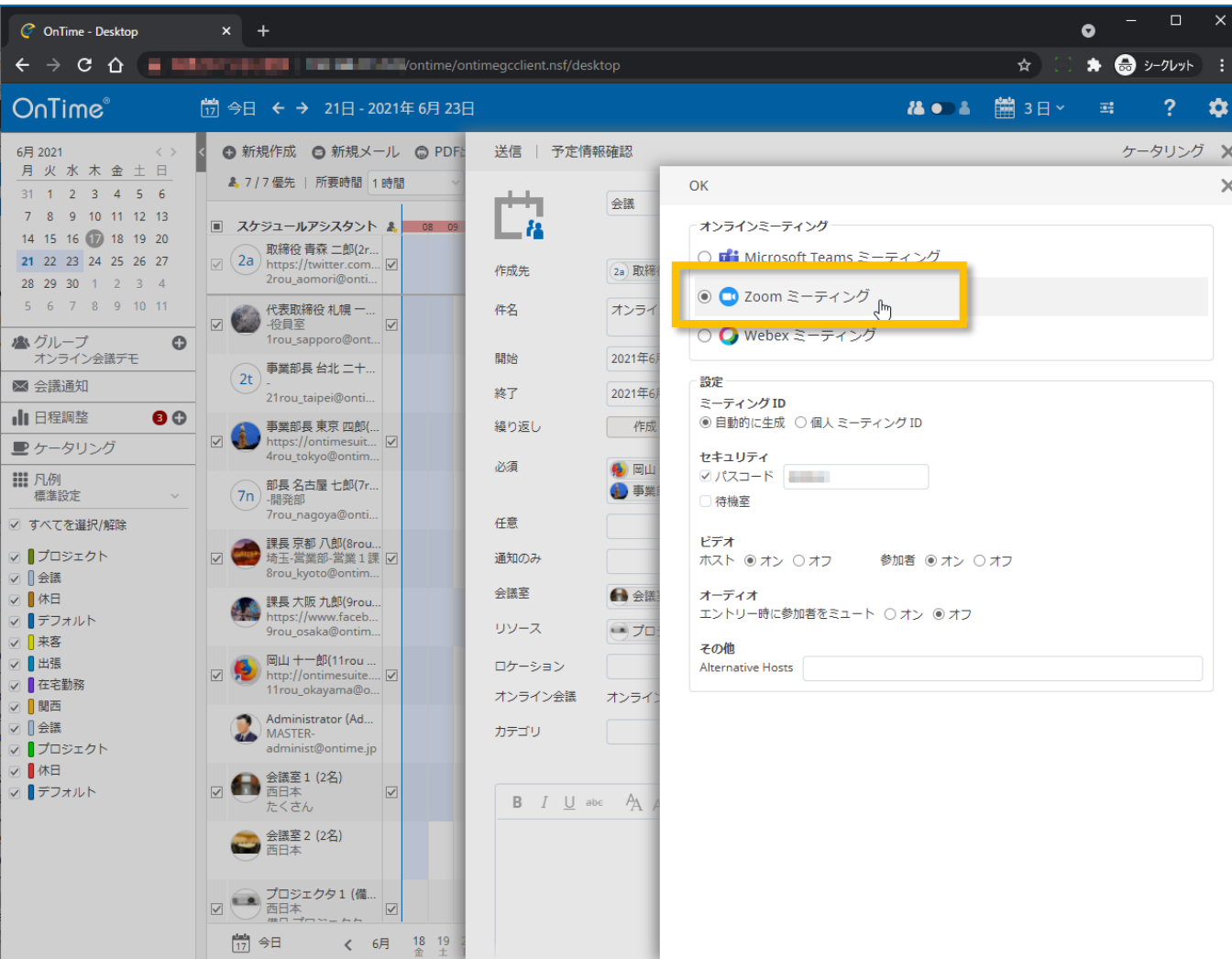


- 新規ウィンドウでMicrosoft365へのサインイン画面が表示されるので、サインインしてください。



3. Zoom Meetingの設定

3. Zoomミーティングの設定



- OnTimeクライアントでZoomミーティングを作成できます。
- Zoomマーケットプレイスでアプリの作成と各設定を行い、その内容をGlobalSettings文書内「Online Meeting Settings」の「Zoom Meetings」の項目に設定する必要があります。



3-1. 管理者作業

3-1-1.アプリの登録 1



Zoom ユーザー管理 - Zoom

zoom.us/account/user#/

zoom ソリューション プランと価格 ミーティングをスケジュールする ミーティングに参加する ミーティングを開催する

個人

- プロフィール
- ミーティング
- ウェビナー
- 記録
- 設定

管理者

- ユーザー管理
- ユーザー
- グループ管理
- 役割の管理
- ルーム管理
- アカウント管理
- 詳細

ユーザー 名のライセンス済みのユーザーを追加できます。 ドキュメント

ユーザー 保留中 詳細

検索する 詳細な検索条件 インポートする エクスポート + ユーザーを追加する

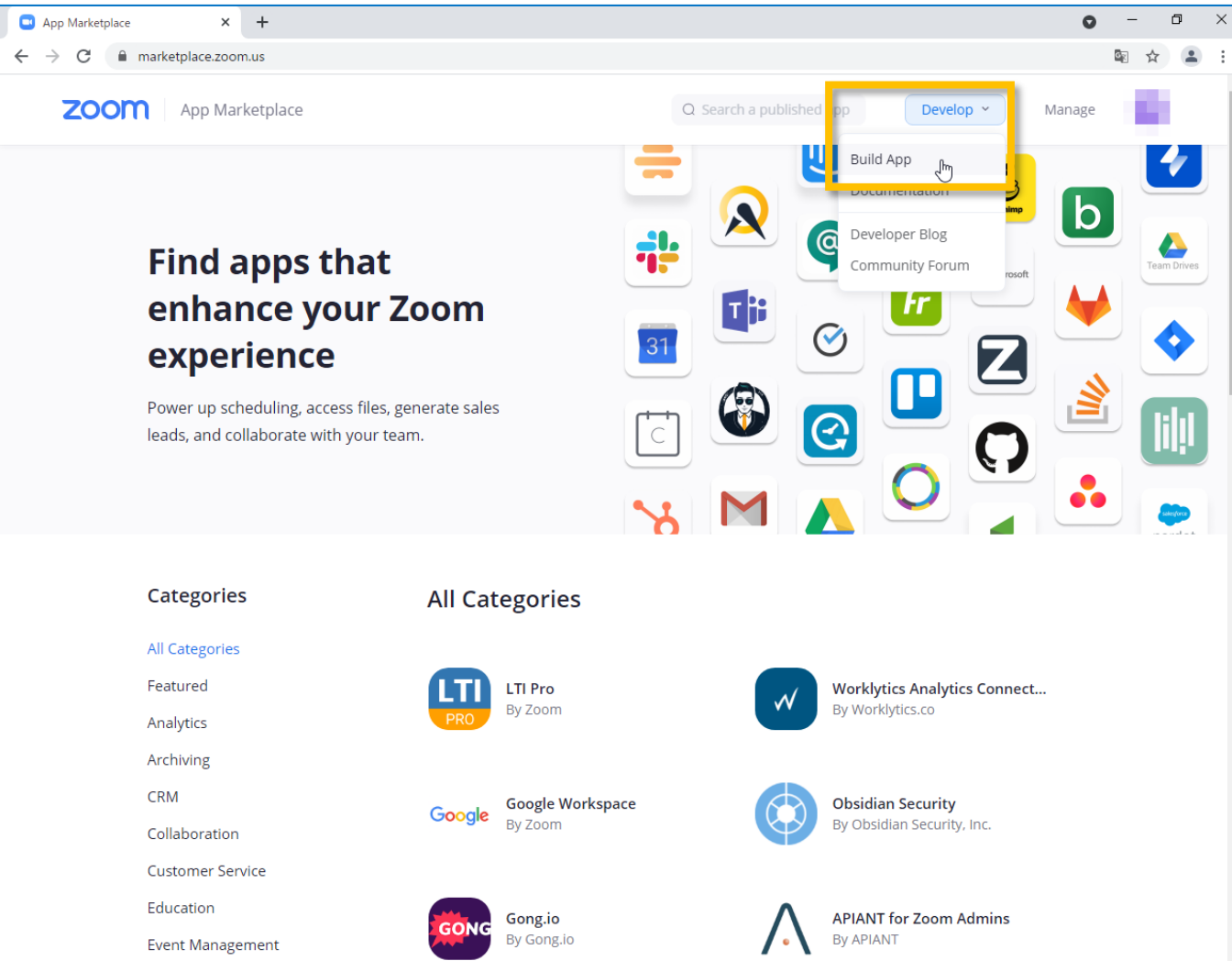
☐	メール/ID名	名	姓	役割	
☐	...@...co.jp	...	...	オーナー	編集
☐	...@...com	...	...	メンバー	編集 ...
☐	...@...	...	...	メンバー	編集

1 ページ 件の結果

ライブトレーニングに出席
ビデオチュートリアル
ナレッジベース

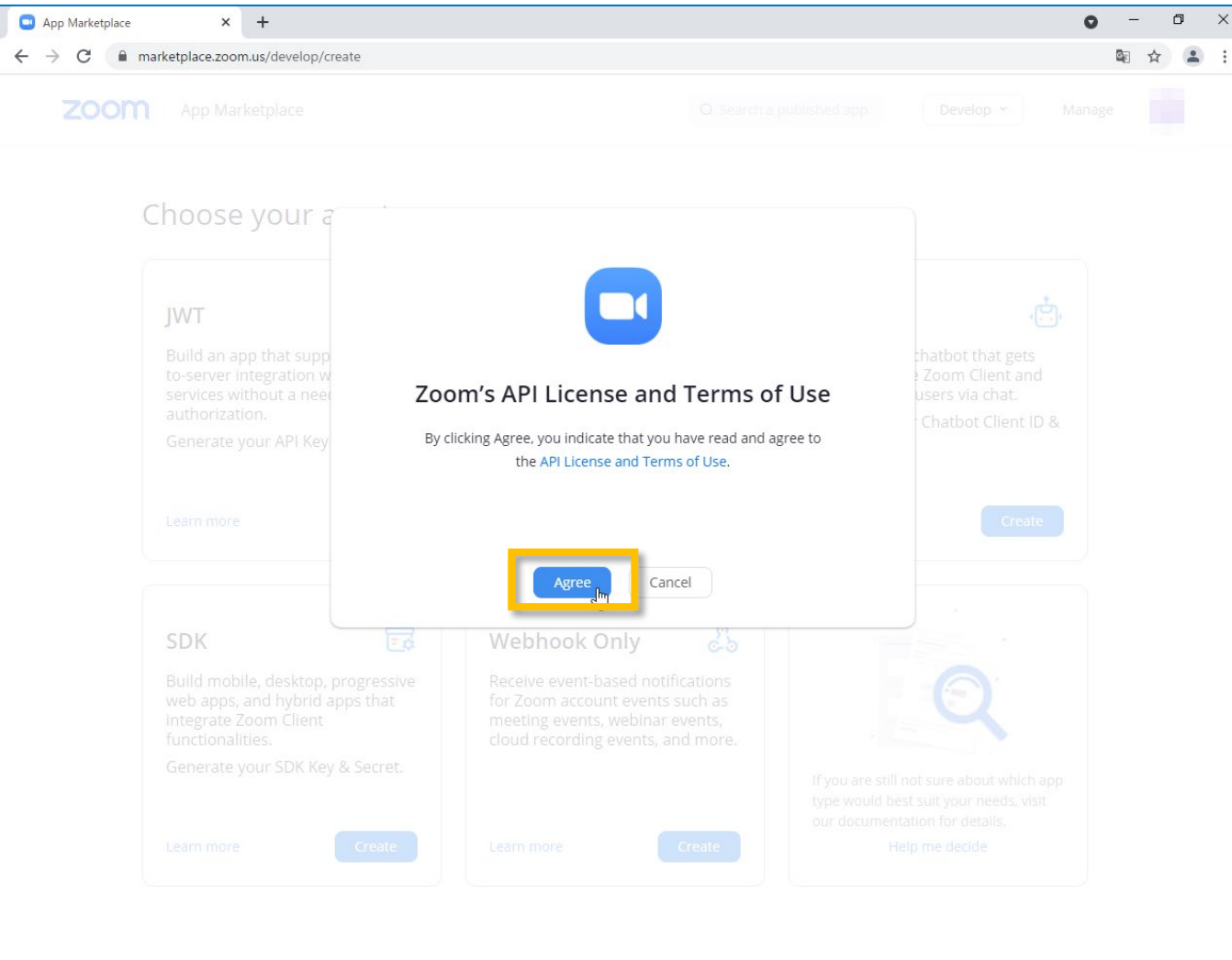
- 事前準備として、これから作成するアプリを組織内ユーザーに利用させるために、利用メンバーのアカウントを組織の管理アカウントに関連付けさせる必要があります。
- Zoomにプロ以上のライセンスを保持している管理者（オーナー）アカウントでログインします。
<https://zoom.us/signin>
- 「ユーザー管理」の「ユーザー」の画面を開き、利用対象者のアカウントを登録してください。登録するアカウントに割り当てるライセンスは無料の「基本」でかまいません。

3-1-1.アプリの登録 2



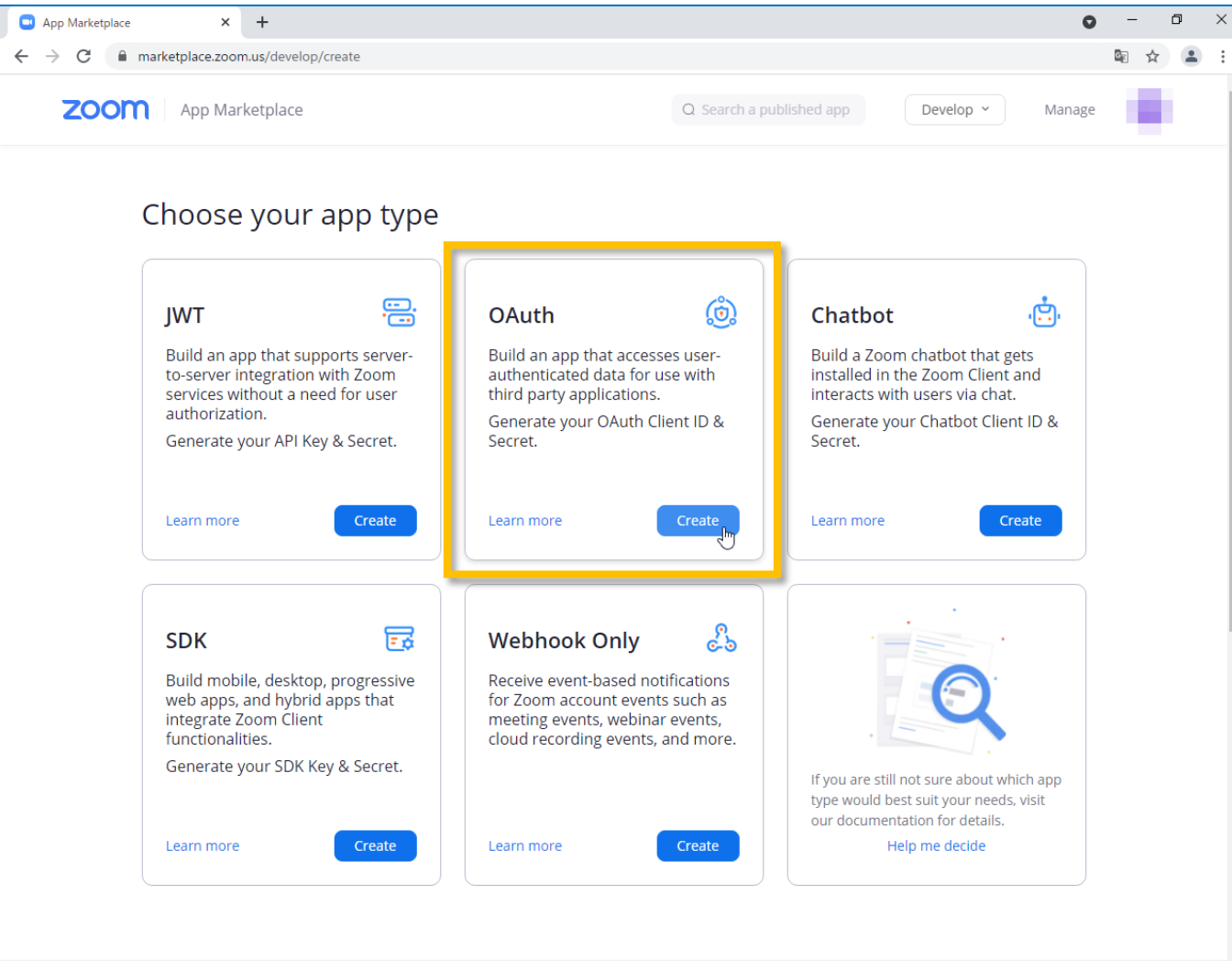
- Zoomマーケットプレイスにログインします。
<https://marketplace.zoom.us/>
- 画面右上の「Develop」から「Build App」を選択します。

3-1-1.アプリの登録 3



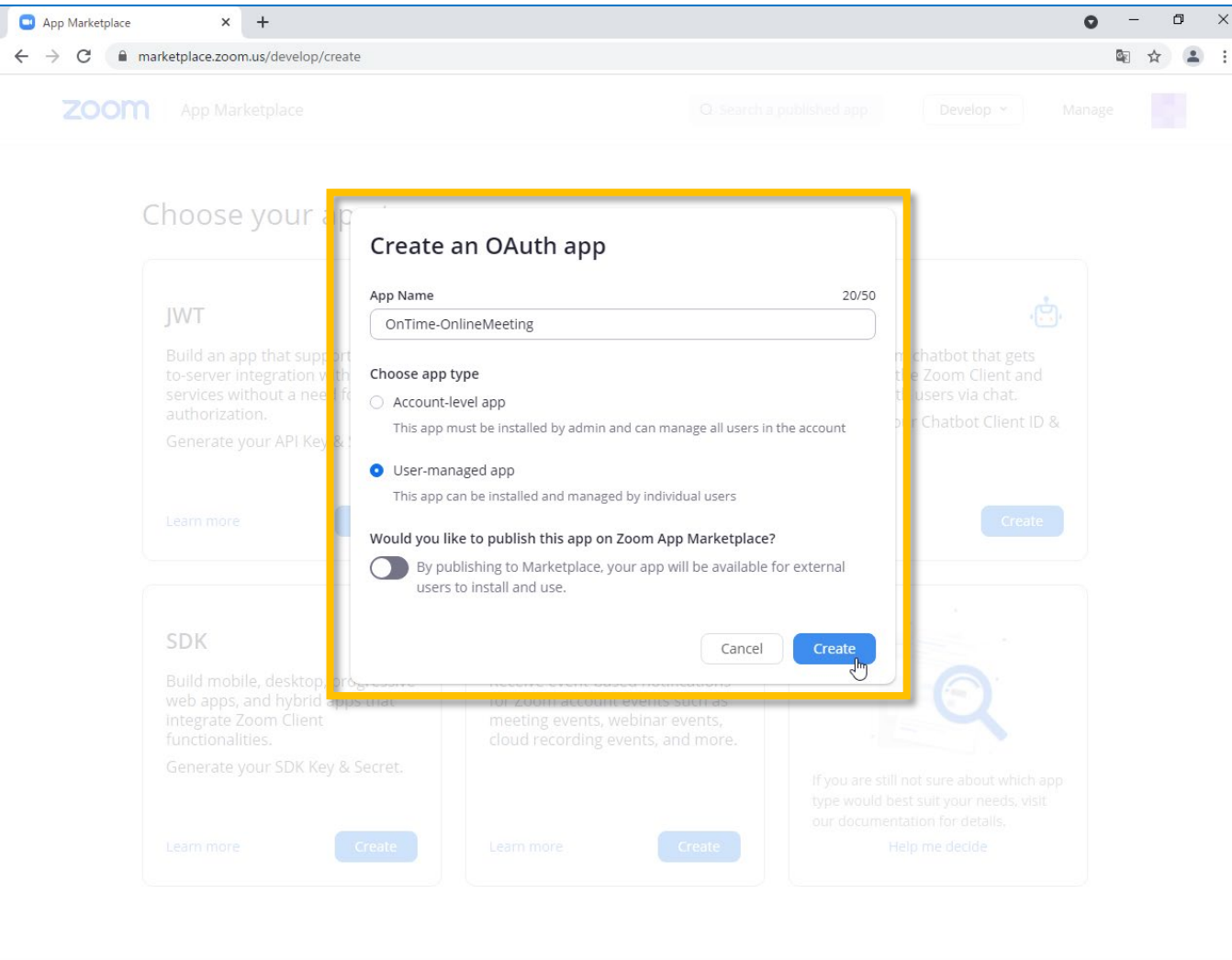
- 初回にはAPIライセンスと利用規約への承諾を聞かれるので「Agree」をクリックして承諾します。

3-1-1.アプリの登録 4



- アプリの種類の選択画面が開きます。
- 「OAuth」の「Create」をクリックします。

3-1-1.アプリの登録 5



- 「Create an OAuth app」のダイアログが表示されます。
- 「App Name」に識別しやすい任意の名前を入力します。
- 「Choose app type」では「User-managed app」を選択します。
- Would you like.....は無効のままにします。
- 「Create」をクリックします。

3-1-2.IDとシークレット取得



The screenshot shows the 'App Credentials' page in the Zoom App Marketplace. The page title is 'OnTime-OnlineMeeting'. Below the title, there are tabs for 'Intent to publish: No', 'User managed app', and 'OAuth app'. The 'App Credentials' section is highlighted with a yellow box. It contains the following fields and buttons:

- Client ID:** A text field containing 'dR...' followed by a 'Copy' button.
- Client Secret:** A text field containing '...' followed by a 'Copy' button and a 'Regenerate' button.
- Redirect URL for OAuth:** A text field containing 'https://yourcompany.com/redirect'.
- Whitelist URL:** A section with a description and a toggle switch.
- Security Check:** A section with a description and a toggle switch.
- Subdomain check:** A section with a description and a toggle switch.

At the bottom of the page, there is a 'Continue' button and a 'Saved' status indicator.

- 作成したアプリの「App Credentials」ページが開きます。
- 表示された「Client ID」と「Client Secret」の値をコピーしてメモ帳等に保持しておきます。
後ほどOnTimeGCCConfigDBのGlobalSettings文書の設定で利用します。
- 画面を下へスクロールします。

3-1-3.アプリの各種設定 1



App Marketplace

zoom App Marketplace

Search a published app

Develop Manage

App Credentials

Information
Feature
Scopes
Activation

Below credential allows you to generate a token that is utilized by Zoom OAuth, providing you access to Zoom APIs.

Client ID
dR...fMA Copy

Client Secret
..... Copy Regenerate

Redirect URL for OAuth
Destination URL where Zoom will send the access token after the user completes the OAuth authentication.
https://...demo.com/servlet/ontimegc/oauth/v1

Whitelist URL
Whitelist URLs are used by Zoom to register your development and production redirect URLs.

Security Check
Security checks are used to prohibit others from tampering with redirected URLs.

Subdomain check
Only allow redirects that match the subdomain of the valid OAuth Redirect URL. ☐

Add Whitelist URLs
https://...demo.com/servlet/ontimegc/oauth/v1 Remove

Add a new one

Back Saved Continue

- 「App Credentials」の画面を下へスクロールして「Redirect URL for OAuth」と「Add Whitelist URLs」の欄に指定のURLをコピーして貼り付けます。

「Redirect URL for OAuth」と「Add Whitelist URLs」に、コピーしておいたGlobalSettings文書のRedirect URLs欄の文字列を貼り付けます。「http(s)://<ホスト名>/servlet/ontimegc/oauth/v1」と入力してください。

複数のOnTimeサーバーを御利用中の場合は「Add a new one」ボタンから、ホワイトリストに全てのOnTimeサーバー用のURLを上記同様の文字列で追加してください。

- 画面右下の「Continue」をクリックします。

3-1-3.アプリの各種設定 2



- Information の画面が開きます。

「App Name」 アプリの名称
「Short Description」 アプリの簡単な説明
「Long Description」 アプリの詳細な説明・情報等
をそれぞれ入力してください。

- 画面を下へスクロールします。

3-1-3.アプリの各種設定 3



App Marketplace

marketplace.zoom.us/develop/apps/z...g/information

zoom App Marketplace

Search a published app

Develop Manage

Category (Optional)
Select a category that best describes the main function or subject matter of your app. [Learn more.](#)

Select a category

Vertical (Optional)
Assign a vertical if your app has been built with industry vertical-specific compliance such as HIPAA, FedRAMP, or is specific to Higher Education or K-12. [Learn more.](#)

Select a vertical category

Company Name
Your Company Name

Developer Contact Information
Provide your email for us to contact you for service impacting announcements, including new Marketplace/API updates, breaking changes, and other updates as well as information that directly impact your app.

Name

Email Address

Links (optional)
Privacy Policy URL
Provide a URL link to the privacy policy for your app

<https://yourcompany.com/policy>

< Back

Saved

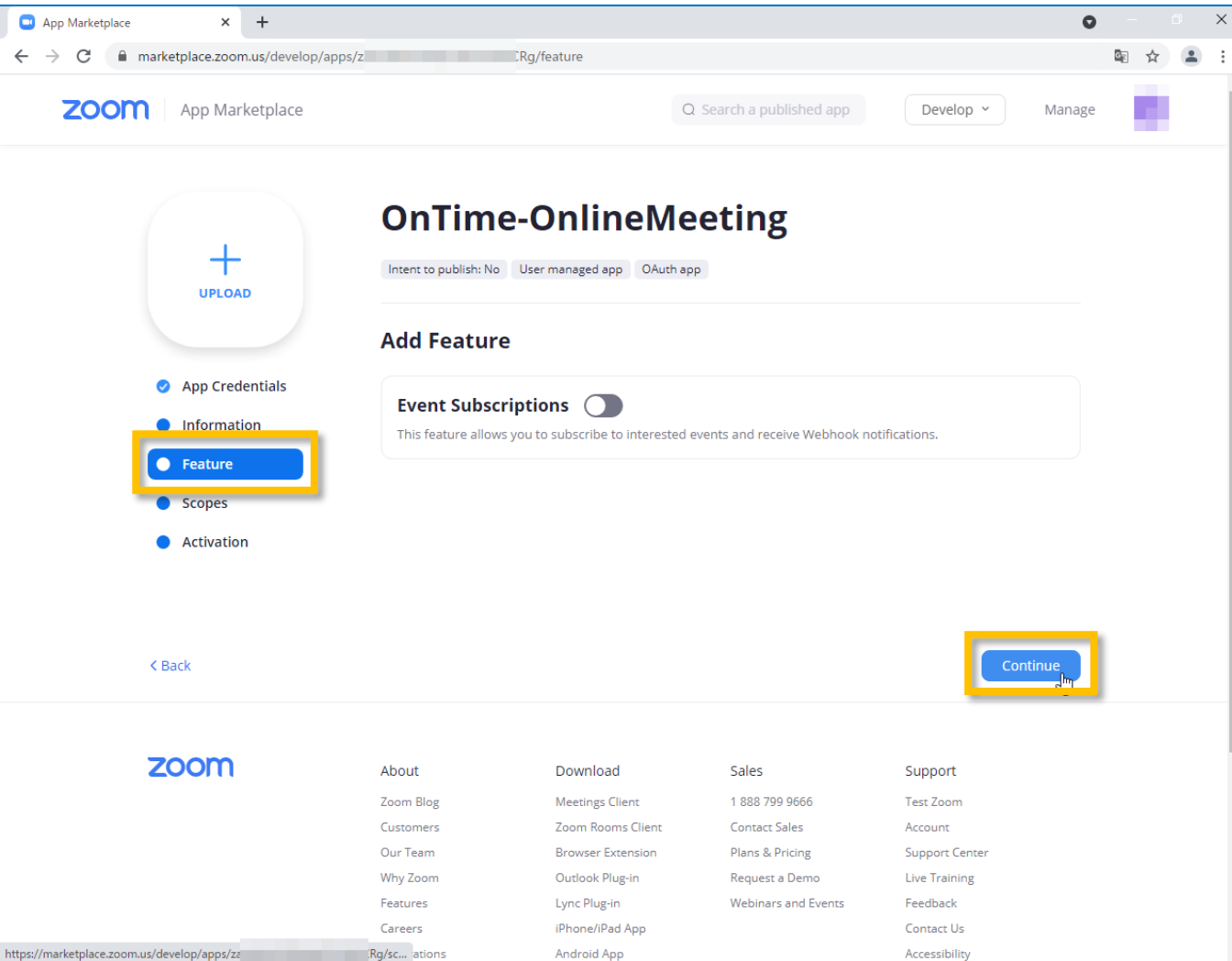
Continue

- 「Category」「Vertical」「Company Name」はそれぞれ空白のままでかまいません。

Developer Contact Informationの
「Name」 アプリ作成者名
「Email Address」 作成者の連絡先メールアドレス
をそれぞれ入力してください。

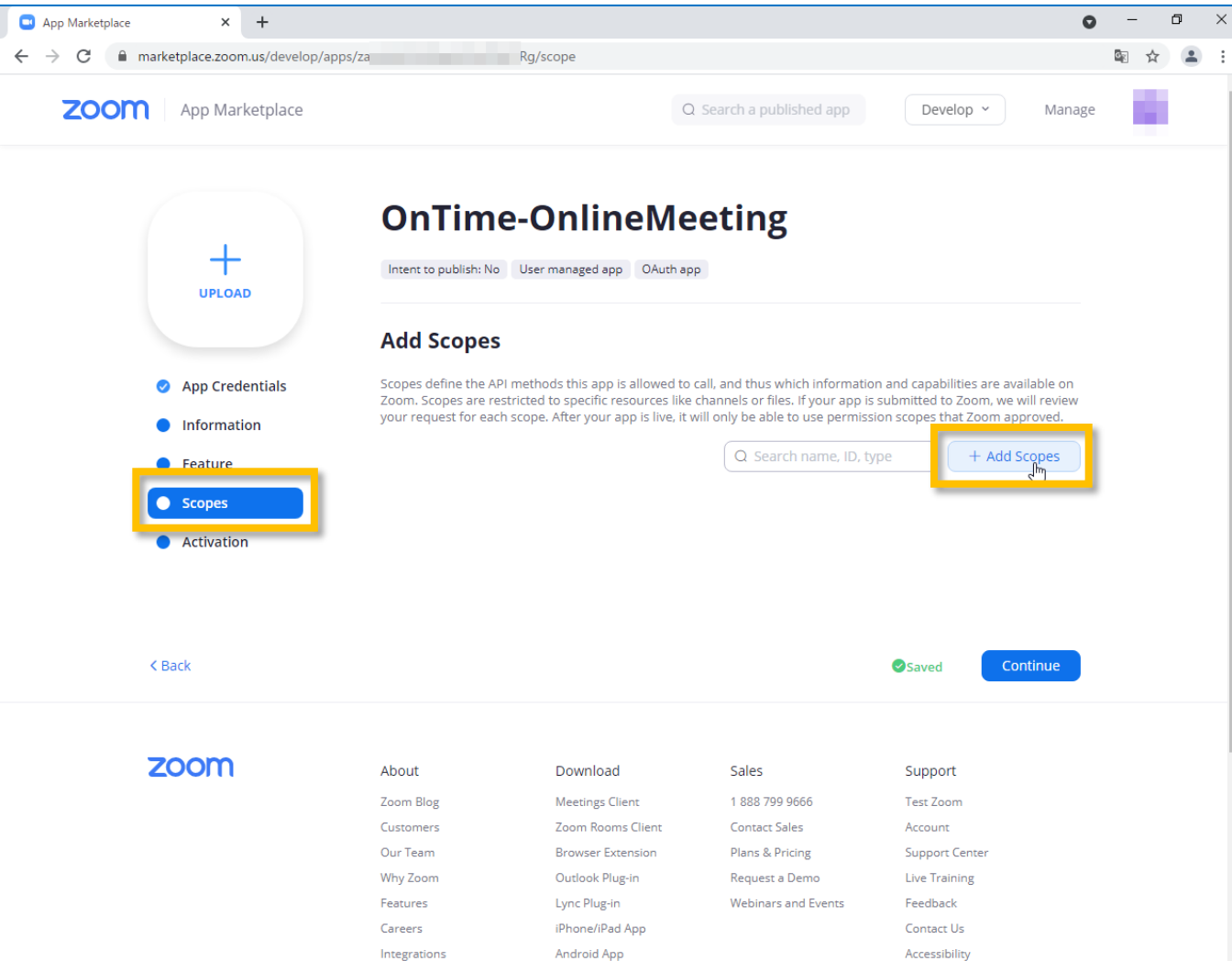
- 「Links」の各値も空白のままでかまいません。
- 画面右下のContinueをクリックします。

3-1-3.アプリの各種設定 4



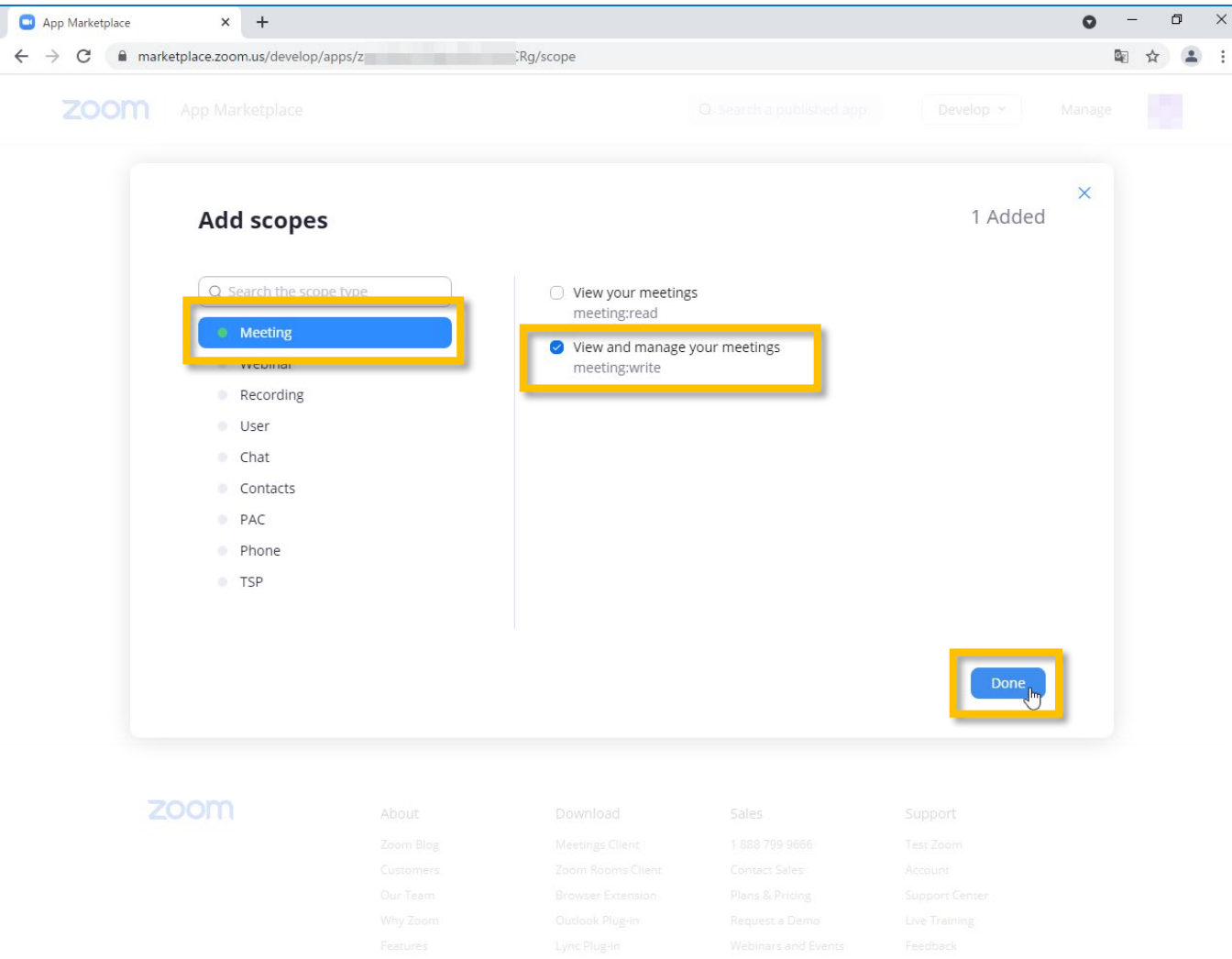
- Featureの画面が開きます。
- 「Event Subscription」は無効のまま、画面右下の「Continue」をクリックします。

3-1-3.アプリの各種設定 5



- Scopesの画面が開きます。
- 「Add scopes」のボタンをクリックします。

3-1-3.アプリの各種設定 6



- Add scopes のダイアログが表示されます。
- 「Meeting」の「View and manage your meetings」をチェックします。
- ダイアログ右下の「Done」をクリックします。

3-1-3.アプリの各種設定 7



App Marketplace

marketplace.zoom.us/develop/apps/z... Rg/scope

zoom App Marketplace

Search a published app

Develop Manage

OnTime-OnlineMeeting

Intent to publish: No User managed app OAuth app

Add Scopes

Scopes define the API methods this app is allowed to call, and thus which information and capabilities are available on Zoom. Scopes are restricted to specific resources like channels or files. If your app is submitted to Zoom, we will review your request for each scope. After your app is live, it will only be able to use permission scopes that Zoom approved.

Search name, ID, type + Add Scopes

Scope Name / ID

View and manage your meetings/meeting:write Delete

Describe how your app intends to use this particular scope

< Back

Continue

zoom

About
Zoom Blog
Customers
Our Team
Why Zoom

Download
Meetings Client
Zoom Rooms Client
Browser Extension
Outlook Plug-in
Lync Plug-in

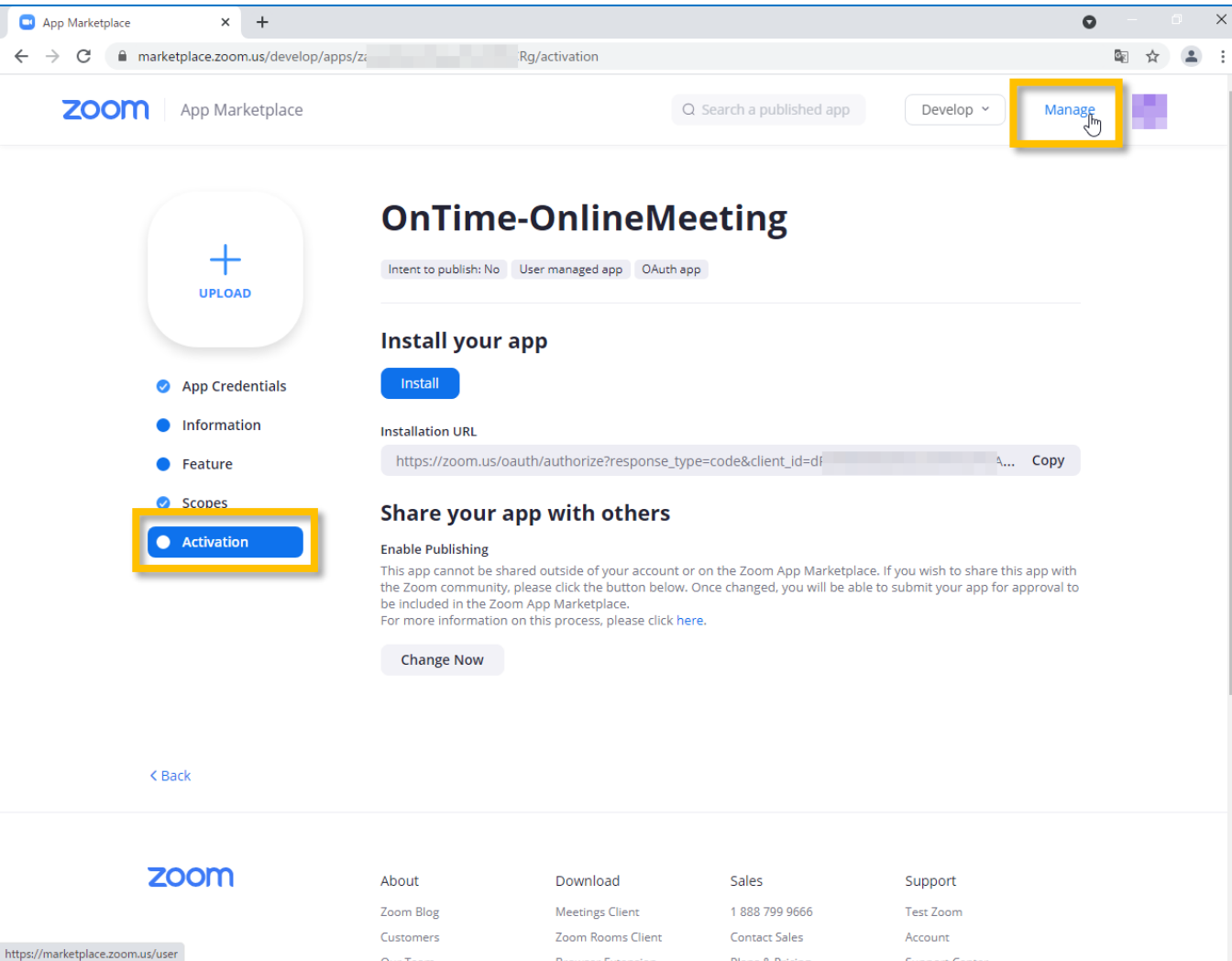
Sales
1 888 799 9666
Contact Sales
Plans & Pricing
Request a Demo
Webinars and Events

Support
Test Zoom
Account
Support Center
Live Training
Feedback

https://marketplace.zoom.us/develop/apps/z...:Rg/activation

- 「View and manage your meetings」が画面に表示されることを確認します。
- 画面右下の「Continue」をクリックします。

3-1-3.アプリの各種設定 8



- 「Activation」のページが表示されます。
- 注意)
ここで「Install」ボタンや「Change Now」ボタンは使用しないでください。
- 画面右上の「Manage」をクリックします。

3-1-3.アプリの各種設定 9



App Marketplace

marketplace.zoom.us/user/build

zoom App Marketplace

Search a published app

Develop Manage

MY DASHBOARD

Created Apps

Installed Apps

Call Logs

MY ADMIN DASHBOARD

Apps on Account

App Requests

Permissions

Email Notifications

Created Apps

Name	Status	Type	Works With	Action
OnTime-OnlineMeeting	Ready to install Updated Today	OAuth Intend to publish: No User Managed	Meetings	...

zoom

About

Zoom Blog

Customers

Our Team

Why Zoom

Features

Careers

Integrations

Partners

Download

Meetings Client

Zoom Rooms Client

Browser Extension

Outlook Plug-in

Lync Plug-in

iPhone/iPad App

Android App

Sales

1 888 799 9666

Contact Sales

Plans & Pricing

Request a Demo

Webinars and Events

Support

Test Zoom

Account

Support Center

Live Training

Feedback

Contact Us

Accessibility

https://marketplace.zoom.us/develop/apps/z...

- 「Created Apps」のページが表示されます。
- 作成したアプリが表示されていればZoomマーケットプレイスでの作業は終了です。

3-1-4.GlobalSettings文書の設定



- OnTimeGCCConfigDBのGlobalSettings文書を開きます。

「Online Meeting Settings」の「Zoom Meetings」にチェックマークをつけ、それぞれコピーしておいた「Client ID」「Client Secret」を指定します。

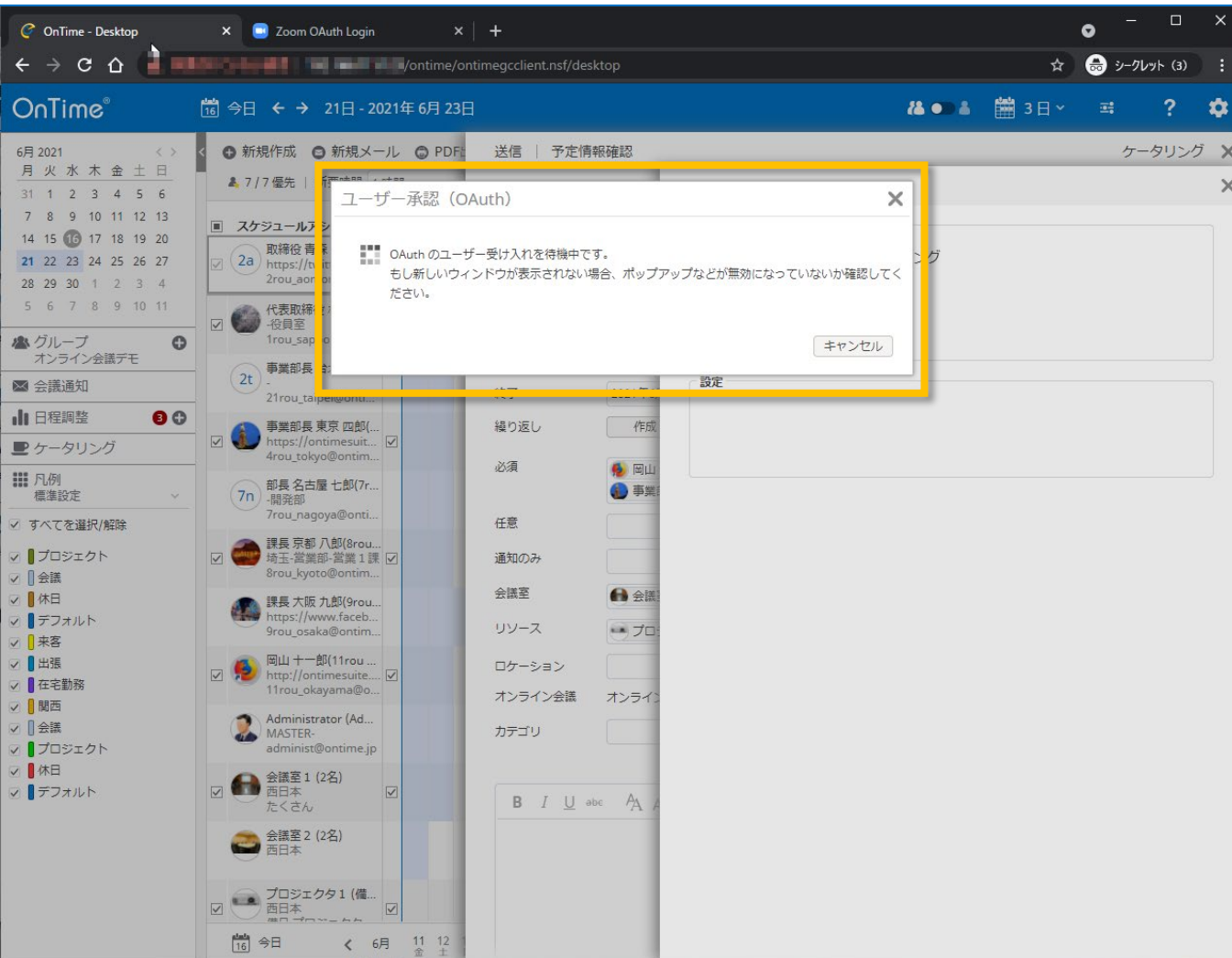
「Members」に利用可能ユーザーを指定、「Exclude」に利用不可のユーザーを指定し、GlobalSettings文書を保存します。

- 設定完了後はブラウザのリロードだけで利用可能になります。「Members」「Exclude」の値を変更した場合はOnTimeAdminコマンドと、HTTPタスクの再起動を行ってください。



3-2. ユーザー作業

3-2. ユーザーの初回利用時 1



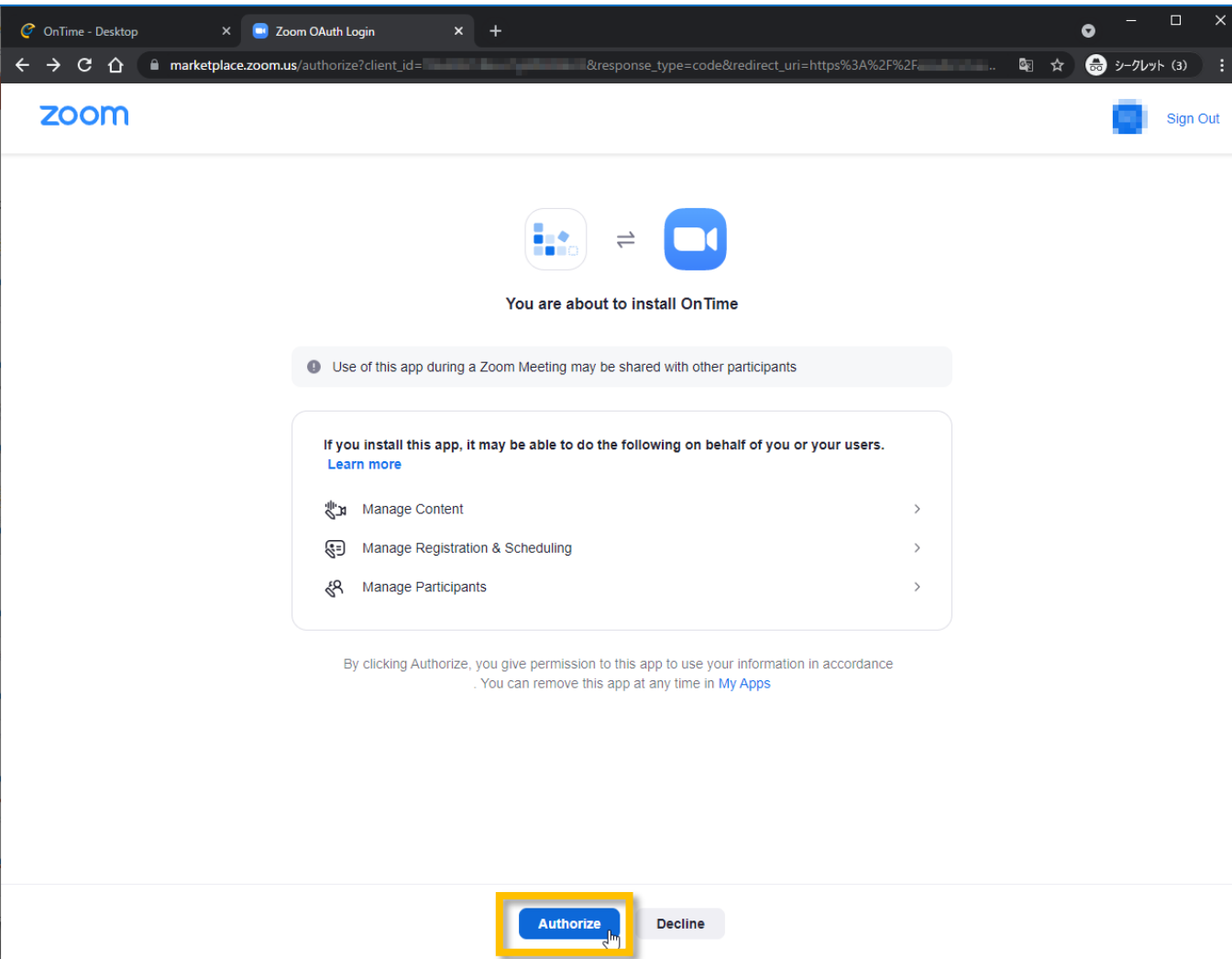
- 会議作成時、オンライン会議に「Zoom ミーティング」を選択すると初回のみ図の様なダイアログが表示されるとともに、新規ウィンドウが開きます。
新規ウィンドウでZoomへのサインインが必要です。

3-2. ユーザーの初回利用時 2



- 新規ウィンドウでZoomへのサインイン画面が表示されるので、サインインしてください。

3-2. ユーザーの初回利用時 3

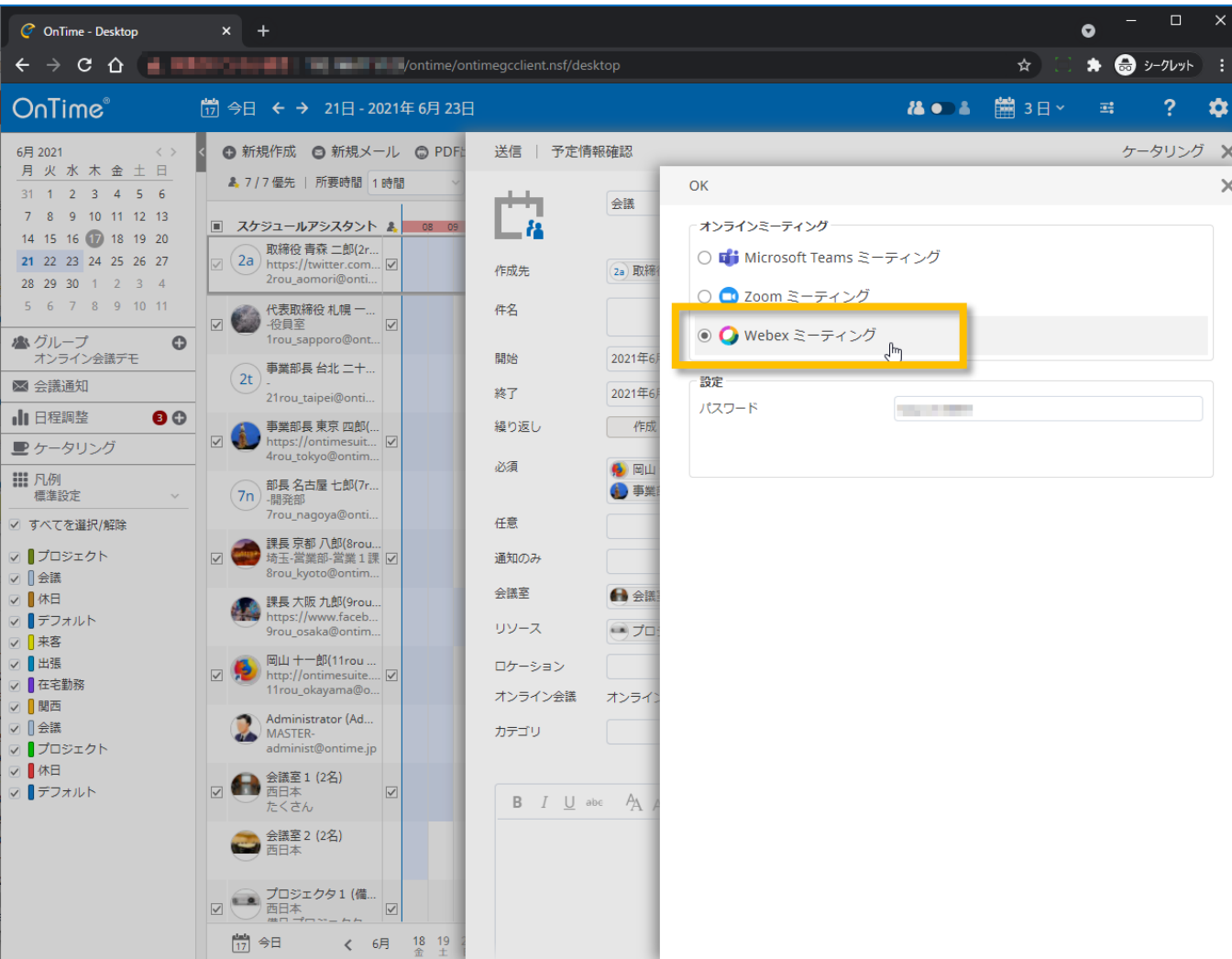


- アクセスリクエストの画面が表示されます。
- 「Authorize(認可)」をクリックしてください。



4. Webex Meetingの設定

4. Webexミーティングの設定



- OnTimeクライアントでWebexミーティングを作成できます。
- webex for Developersのサイトでアプリの作成と各設定を行い、その内容をGlobalSettings文書内の「Online Meeting Settings」の「Webex Meetings」の項目に設定する必要があります。



4-1. 管理者作業

4-1-1.アプリの登録 1



Webex 管理

Webex Meetings の最新チャネルについては、「最新機能」を参照してください。

ユーザー

ユーザー名: メールアドレス:

表示: 表示: リストのソート順: 昇順

インデックス: [A](#) [B](#) [C](#) [D](#) [E](#) [F](#) [G](#) [H](#) [I](#) [J](#) [K](#) [L](#) [M](#) [N](#) [O](#) [P](#) [Q](#) [R](#) [S](#) [T](#) [U](#) [V](#) [W](#) [X](#) [Y](#) [Z](#) [すべて](#)

アクティブ	名前	メール	ユーザー名	作成時間	セッションタイプ	PRO	PRO	Std	Pro
☒		shoji@ontime.co.jp	OnTime_Support	2019/04/01 14:00	☒	☐	☐	☐	☒
☒		tsukubara@ontime.co.jp	tsukubara	2020/04/17 13:41	☒	☒	☐	☐	☒

ページ: 1 / 1

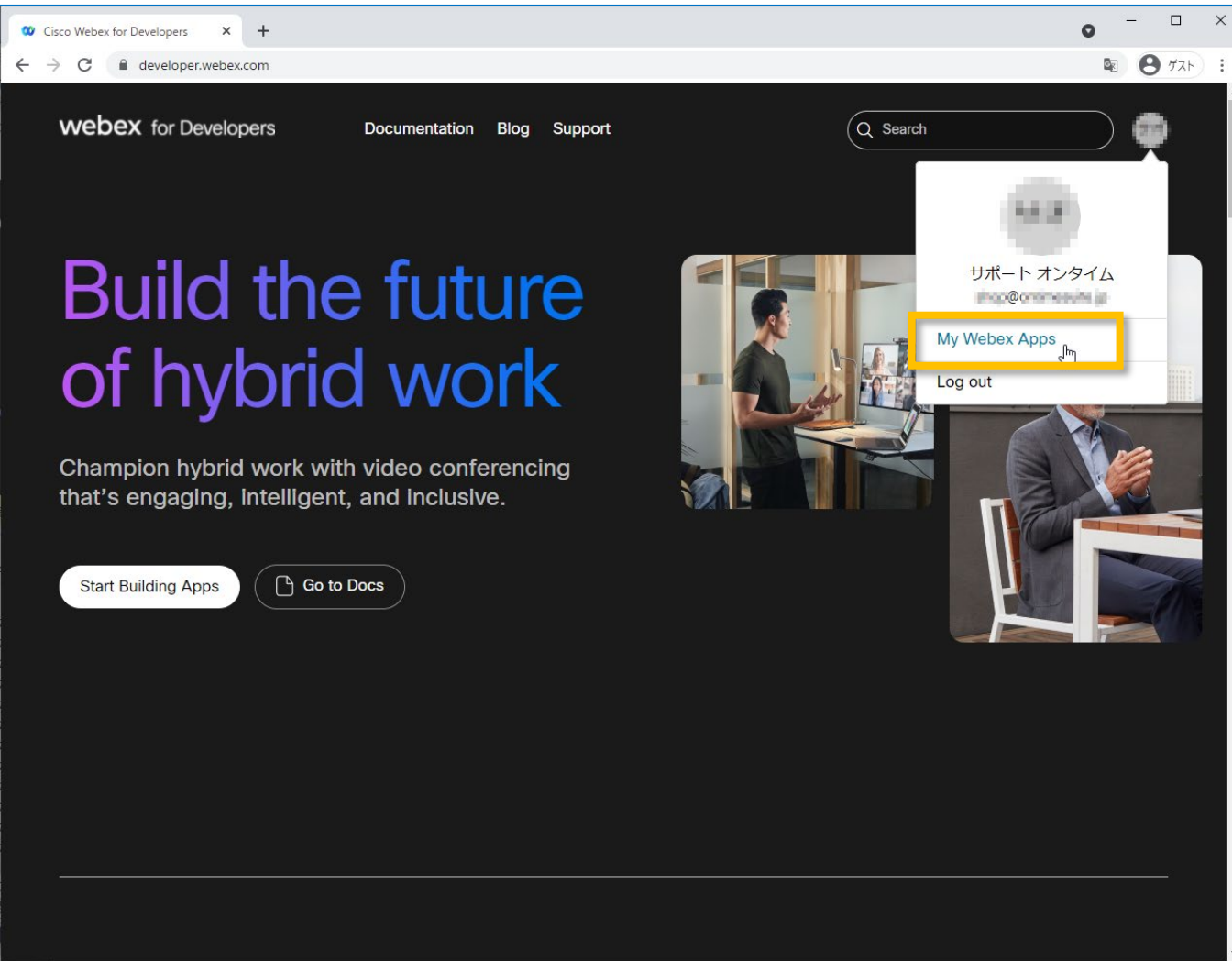
日本時間 (東京、GMT+09:00)

[Privacy](#) | [Terms/Conditions](#)

[Privacy](#) | [Terms of Service](#) | [Request information about WebEx services](#)

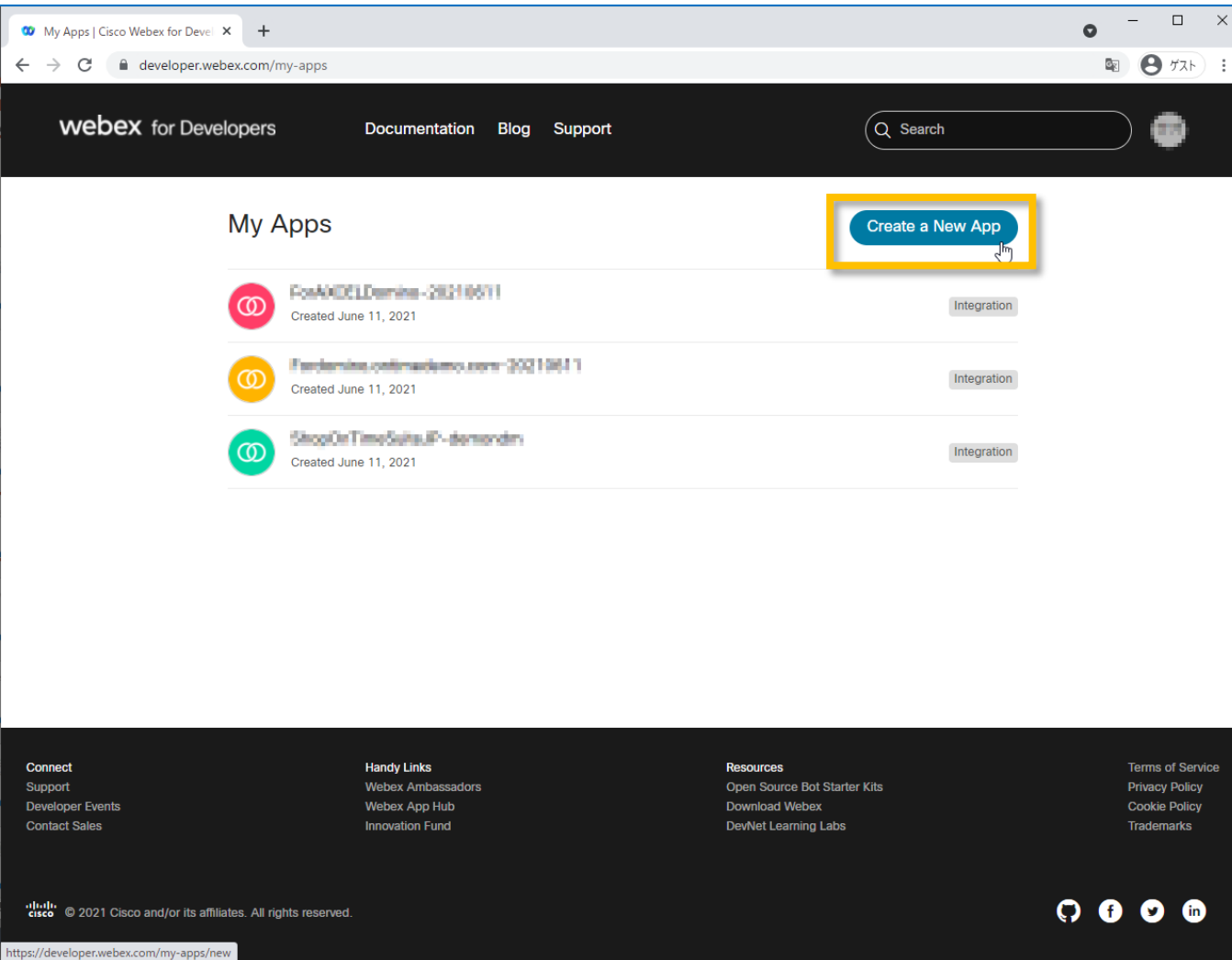
- 事前準備として、これから作成するアプリを組織内ユーザーに利用させるために、利用メンバーのアカウントを組織の管理アカウントに関連付けさせる必要があります。
- Webexにライセンスを保持している管理者アカウントでログインします。
<https://www.webex.com>
- 「ユーザー管理」の「ユーザーの編集」の画面を開き、利用対象者のアカウントが登録されていることを確認してください。対象者が登録されていない場合は「ユーザーの追加」「ユーザーのインポート/エクスポート」からユーザーアカウントを追加してください。

4-1-1.アプリの登録 2



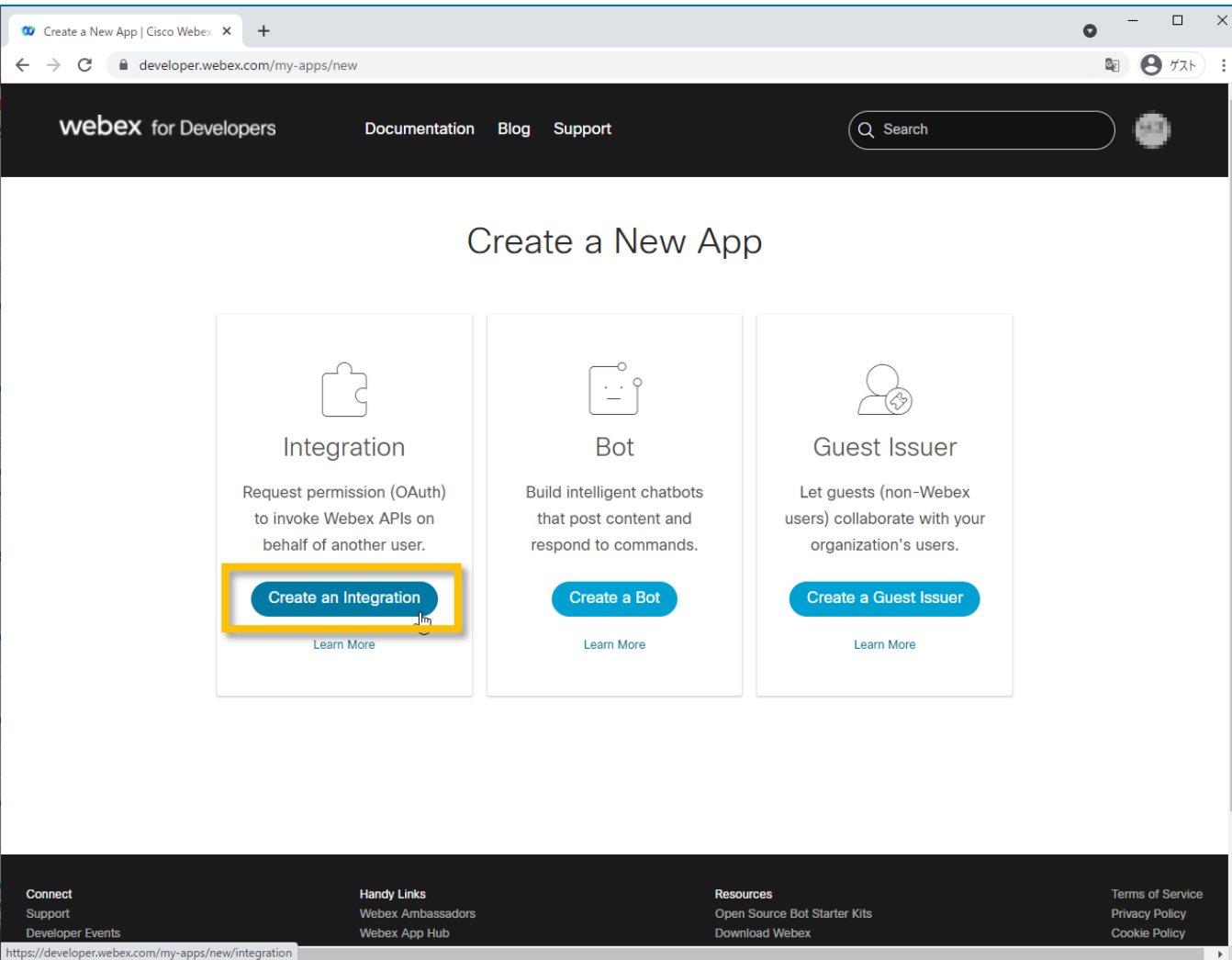
- webex for Developersにログインします。
<https://developer.webex.com/>
- 画面右上のユーザーアイコンから「My Webex Apps」を選択します。

4-1-1.アプリの登録 3



- 画面右上の「Create a New App」を選択します。

4-1-1.アプリの登録 4



- 「Create an Integration」をクリックします。

4-1-1.アプリの登録 5



New Integration | Cisco Webex for Developers

Documentation Blog Support

Search

New Integration

Will this integration use a mobile SDK?
(Webex iOS or Android SDK 3.0+)

☒ No
☐ Yes

Integration name*
Name of your integration as it will appear in Webex.

ForOnTimeDomino

Contact email*
Contact email.

onetime@excel.co.jp

Icon*
Upload your own or select from our defaults. Must be exactly 512x512px in JPEG or PNG format.

Upload Default 1 Default 2 Default 3

- 「New Integration」のページが表示されます。
- 「Will this integration use a mobile SDK?」で「No」を選択します。
- 「Integration name」では識別しやすい任意の名前を入力します。
- 「Contact email」はこのアプリの管理者のメールアドレスを指定します。
- 「Icon」では任意のアイコンを選択、または適用したいアイコンを指定します。
- 画面を下へスクロールします。

4-1-1.アプリの登録 6



Icon*
Upload your own or select from our defaults. Must be exactly 512x512px in JPEG or PNG format.

Description*
Provide some details about what your integration does, how it benefits users, and most importantly, how a user can get started using it. The description should be under 1024 characters. You can use bullets, links, and Markdown formatting. If your app is listed on the Webex App Hub, this field will be used as the listing's description.

Redirect URI(s)*
One or more URIs that a user will be redirected to when completing an OAuth grant flow.

Supported markdown 977 characters remaining

Add URI

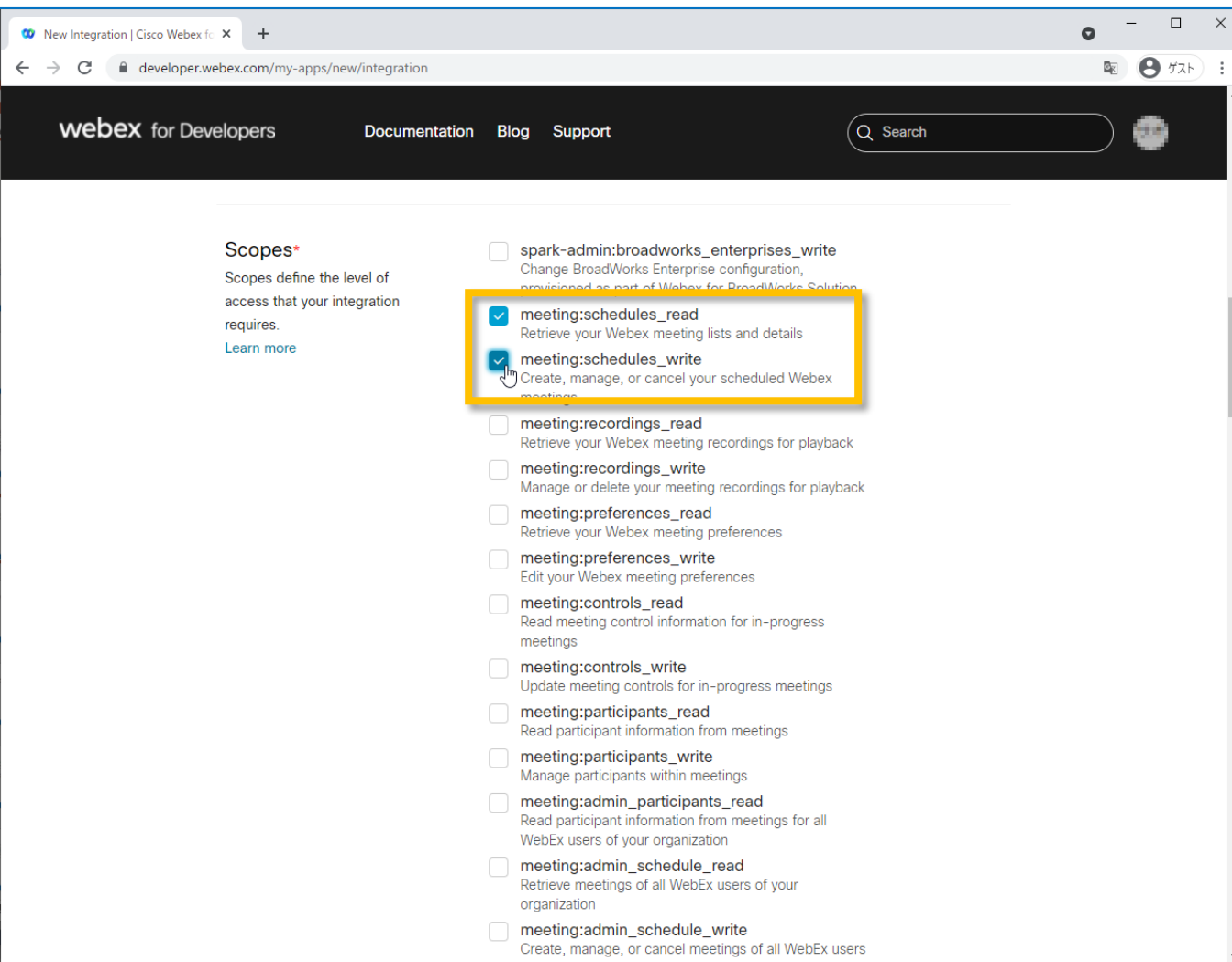
- 「Description」には、このアプリについての説明文を記載します。

「Redirect URI(s)」の欄に、コピーしておいた GlobalSettings 文書の Redirect URLs 欄の文字列を貼り付けます。
「http(s)://<ホスト名>/servlet/ontimegc/oauth/v1」と入力してください。

複数の OnTime サーバーを御利用中の場合は「Add URI」ボタンから、全ての OnTime サーバー用の URL を上記同様の文字列で追加してください。

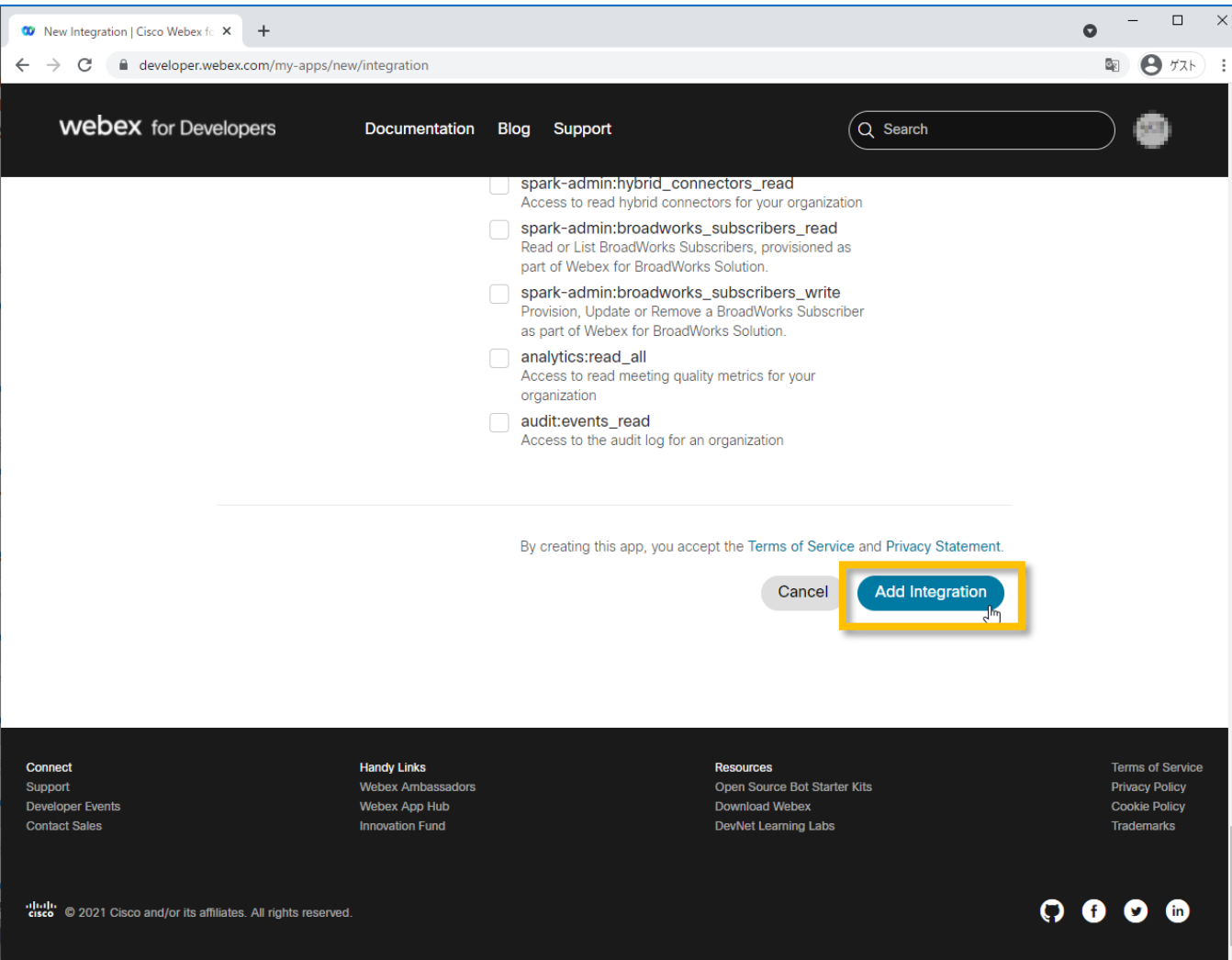
- 画面を下へスクロールします。

4-1-1.アプリの登録 7

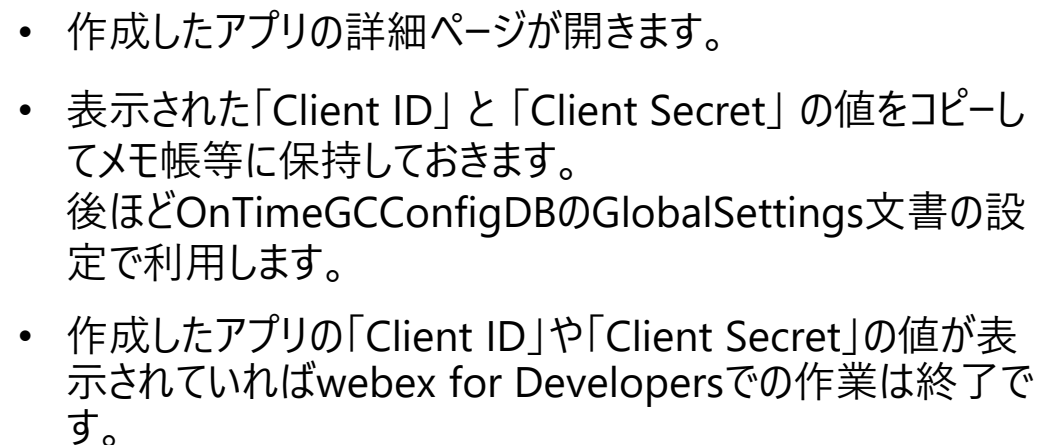


- 「Scopes」の欄の以下の2点にチェックをします。
meeting:schedules_read
meeting:schedules_write
- ページの一番下までスクロールします。

4-1-1.アプリの登録 8



- 「Add Integration」のボタンをクリックします。



4-1-3.GlobalSettings文書の設定



- OnTimeGCCConfigDBのGlobalSettings文書を開きます。

「Online Meeting Settings」の「Webex Meetings」にチェックマークをつけ、それぞれコピーしておいた「Client ID」「Client Secret」を指定します。

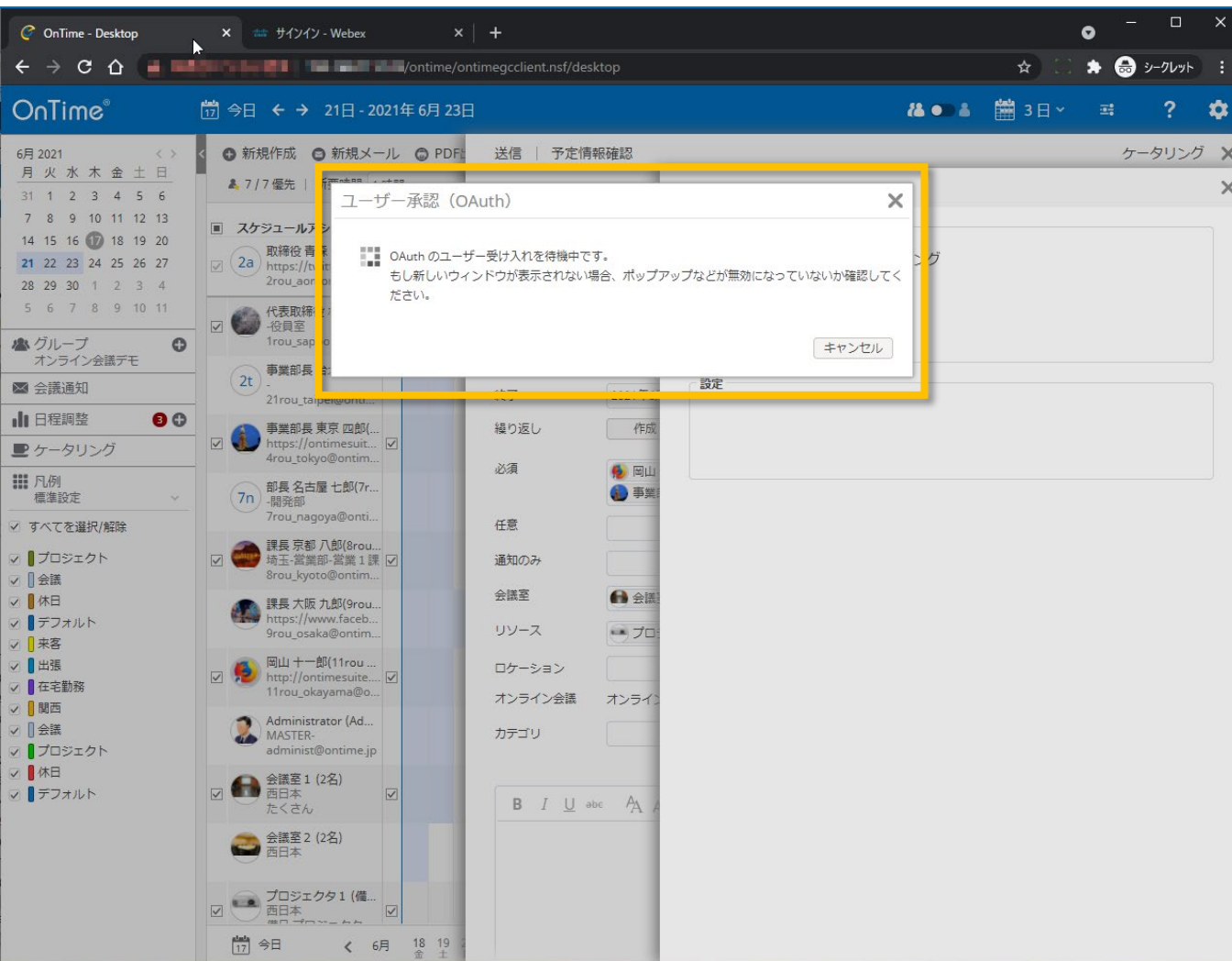
「Members」に利用可能ユーザーを指定、「Exclude」に利用不可のユーザーを指定し、GlobalSettings文書を保存します。

- 設定完了後はブラウザのリロードだけで利用可能になります。「Members」「Exclude」の値を変更した場合はOnTimeAdminコマンドと、HTTPタスクの再起動を行ってください。



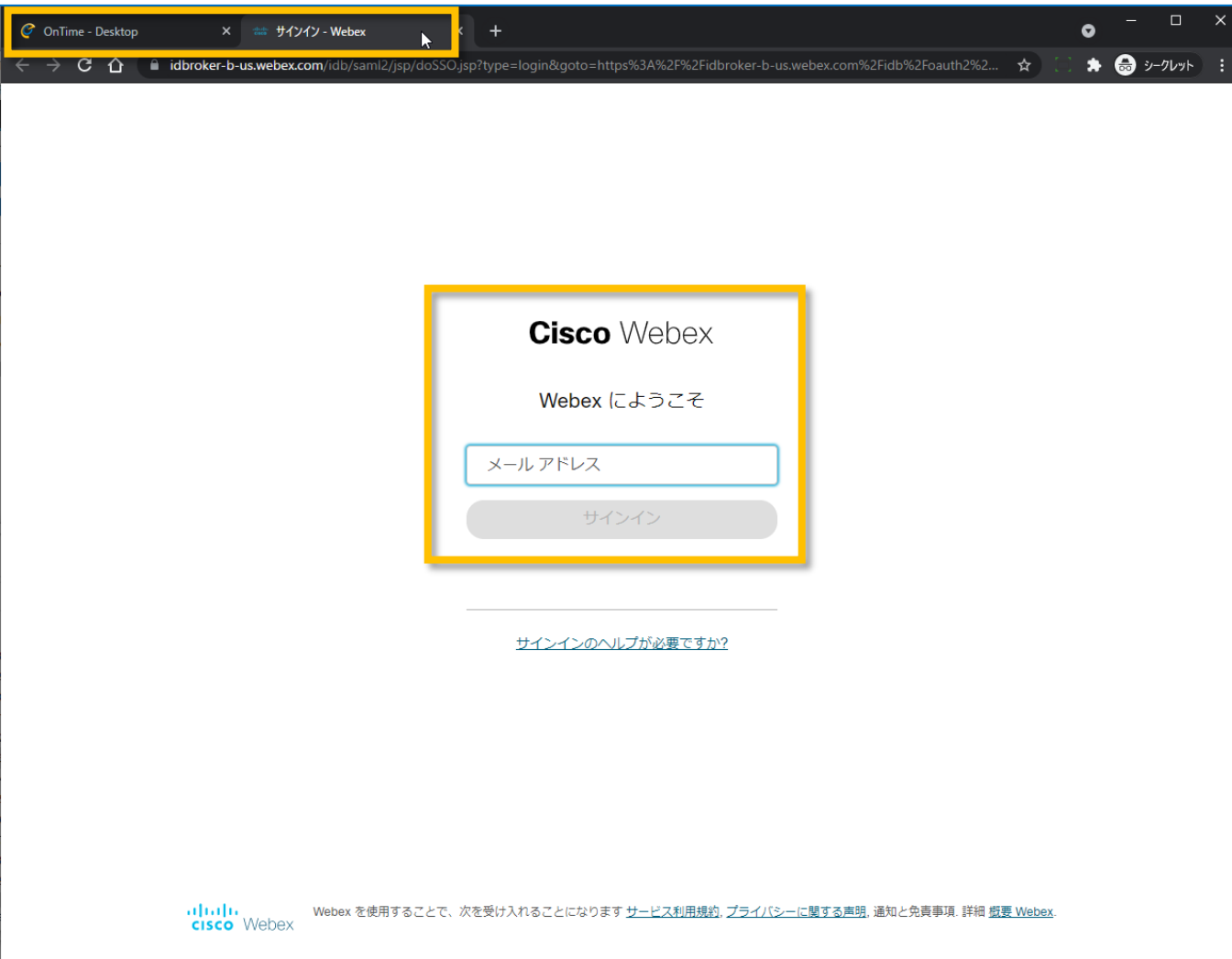
4-2. ユーザー作業

4-2. ユーザーの初回利用時 1



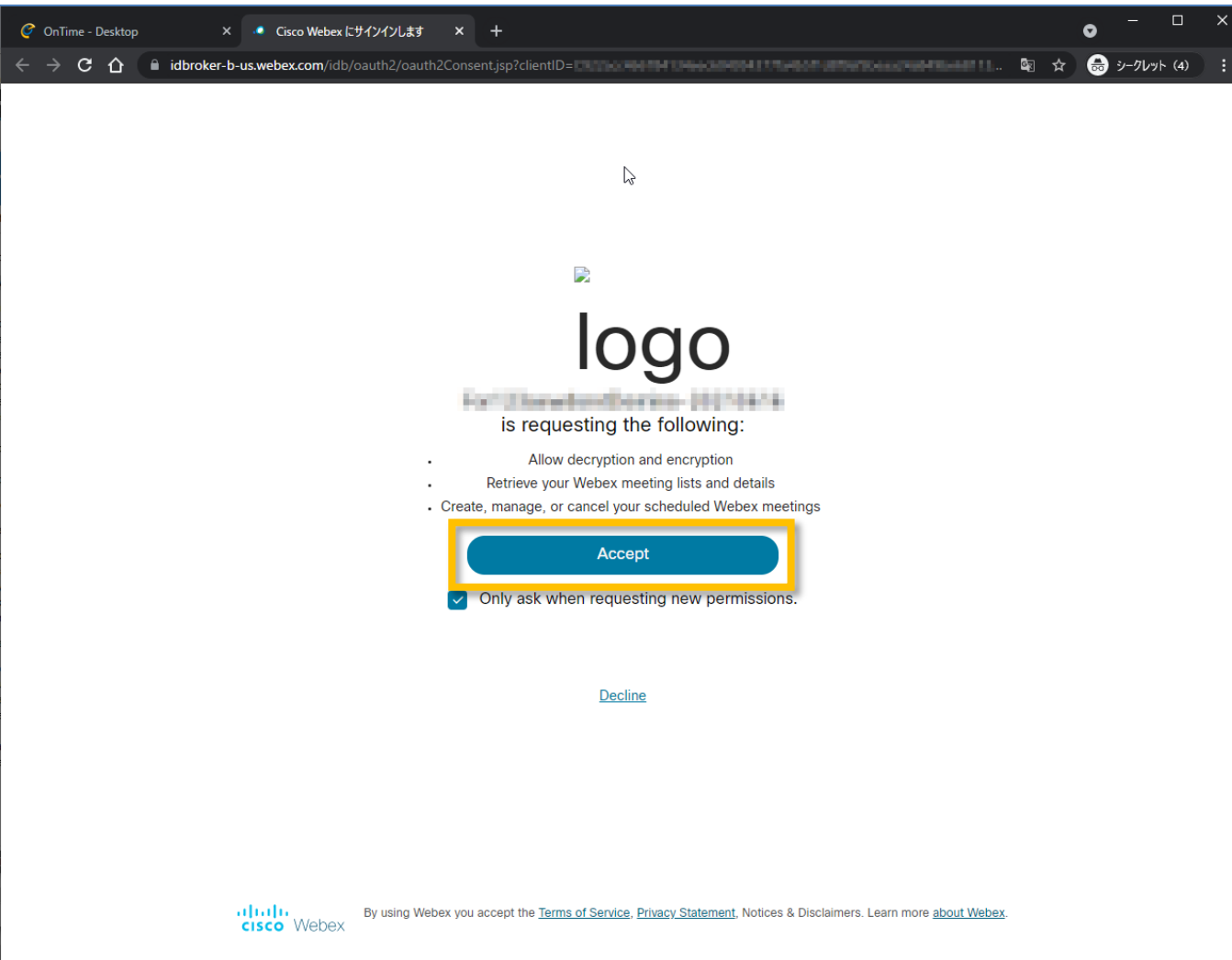
- 会議作成時、オンライン会議に「Webex ミーティング」を選択すると初回のみ図の様なダイアログが表示されるとともに、新規ウィンドウが開きます。
新規ウィンドウでWebexへのサインインが必要です。

4-2. ユーザーの初回利用時 2



- 新規ウィンドウでWebexへのサインイン画面が表示されるので、サインインしてください。

4-2. ユーザーの初回利用時 3



- アクセスリクエストの画面が表示されます。
- 「Accept」をクリックしてください。